

令和 2 年度

授 業 要 綱

(第 5 学年)

福岡歯科大学

目 次

【前期】

時 間 割	【区分】	科目番号		
医 歯 学 連 携 演 習	【演習】	OD051304	1
精 神 医 学 ・ 心 身 医 学	【講義】	OD051302	4

【前・後期】

統 合 演 習 I	【演習】	OD051405	7
臨 床 実 習 (共 通)	【実習】	OD051404A	8
臨 床 実 習 (保 存 ・ 歯 周 病)	【実習】	OD051404B	17
臨 床 実 習 (補 綴 ・ インプラント)	【実習】	OD051404C	19
臨 床 実 習 (口 腔 外 科 ・ 放 射 線 ・ 麻 酔)	【実習】	OD051404D	22
臨 床 実 習 (総 合 歯 科)	【実習】	OD051404E	27
臨 床 実 習 (高 齢 者 歯 科)	【実習】	OD051404F	28
臨 床 実 習 (矯 正 歯 科)	【実習】	OD051404G	30
臨 床 実 習 (小 児 歯 科)	【実習】	OD051404H	32
臨 床 実 習 (障 害 者 歯 科)	【実習】	OD051404I	34
臨 床 実 習 (口 腔 保 健)	【実習】	OD051404J	37
臨 床 実 習 (総 合 医 学)	【実習】	OD051404K	39
臨 床 実 習 (訪 問 歯 科 セ ン タ ー)	【実習】	OD051404L	42

令和2年度 授業時間割表 【第5学年】

(前期)

5年生														
月曜日	時間		4月6日	4月13日	4月20日	4月27日	5月4日	5月11日	5月18日	5月25日	6月1日	6月8日	6月15日	6月22日
1限目	(9:00-10:20)		臨床実習1	臨床実習6	臨床実習11	臨床実習16	みどりの日	臨床実習22	臨床実習27	臨床実習32	臨床実習37	臨床実習42	臨床実習47	臨床実習52
2限目	(10:35-11:55)													
3限目	(13:00-14:20)													
4限目	(14:35-15:55)													
5限目	(16:10-17:30)													
			統合演習 I-1 試験(基礎1、保健1)	統合演習 I-3 解説2 社会	統合演習 I-5 解説4 生理・薬理	医歯学連携演習-4 504		統合演習 I-11 試験(小1、矯正1、傷1、保1、歯周1)	統合演習 I-13 解説2 矯正歯科	医歯学連携演習-8 504	医歯学連携演習-10 504	医歯学連携演習-12 504	医歯学連携演習-14 504	統合演習 I-23 解説3 麻酔
5年生														
火曜日	時間		4月7日	4月14日	4月21日	4月28日	5月5日	5月12日	5月19日	5月26日	6月2日	6月9日	6月16日	6月23日
1限目	(9:00-10:20)		臨床実習2	臨床実習7	臨床実習12	臨床実習17	こどもの日	臨床実習23	臨床実習28	臨床実習33	臨床実習38	臨床実習43	臨床実習48	臨床実習53
2限目	(10:35-11:55)													
3限目	(13:00-14:20)													
4限目	(14:35-15:55)													
5限目	(16:10-17:30)													
			医歯学連携演習-1 504	医歯学連携演習-2 504	統合演習 I-6 解説5 生化学・感染	統合演習 I-8 追加試験1		統合演習 I-12 解説1 小児歯科	医歯学連携演習-6 504	医歯学連携演習-9 504	医歯学連携演習-11 504	医歯学連携演習-13 504	医歯学連携演習-15 504	医歯学連携演習-16 504
5年生														
水曜日	時間	4月1日	4月8日	4月15日	4月22日	4月29日	5月6日	5月13日	5月20日	5月27日	6月3日	6月10日	6月17日	6月24日
1限目	(9:00-10:20)		臨床実習3	臨床実習8	臨床実習13	昭和の日	振替休日	臨床実習24	臨床実習29	臨床実習34	臨床実習39	臨床実習44	臨床実習49	臨床実習54
2限目	(10:35-11:55)													
3限目	(13:00-14:20)													
4限目	(14:35-15:55)													
5限目	(16:10-17:30)													
			精神医学・心身医学-1 504	精神医学・心身医学-3 504	医歯学連携演習-3 504			精神医学・心身医学-8 504	統合演習 I-14 解説3 保存科	統合演習 I-16 解説5 歯周病	統合演習 I-17 追加試験1	統合演習 I-19 追加試験3	精神医学・心身医学-13 504	精神医学・心身医学-14 504
5年生														
木曜日	時間	4月2日	4月9日	4月16日	4月23日	4月30日	5月7日	5月14日	5月21日	5月28日	6月4日	6月11日	6月18日	6月25日
1限目	(9:00-10:20)	当院式・ オリエンテーション	臨床実習4	臨床実習9	臨床実習14	臨床実習18	臨床実習20	臨床実習25	臨床実習30	臨床実習35	臨床実習40	臨床実習45	臨床実習50	臨床実習55
2限目	(10:35-11:55)													
3限目	(13:00-14:20)													
4限目	(14:35-15:55)													
5限目	(16:10-17:30)													
			統合演習 I-2 解説1 保健	統合演習 I-4 解説3 解剖・組織	統合演習 I-7 解説6 病理・理工	統合演習 I-9 追加試験2	統合演習 I-10 追加試験3	医歯学連携演習-5 504	統合演習 I-15 解説4 保存科・障害者		統合演習 I-18 追加試験2	統合演習 I-20 試験(口外1麻酔1、放1、高齢者1)	統合演習 I-21 解説1 口外	統合演習 I-24 解説4 画像
5年生														
金曜日	時間	4月3日	4月10日	4月17日	4月24日	5月1日	5月8日	5月15日	5月22日	5月29日	6月5日	6月12日	6月19日	6月26日
1限目	(9:00-10:20)	第1学年 入学式 オリエンテーション	臨床実習5	臨床実習10	臨床実習15	臨床実習19	臨床実習21	臨床実習26	臨床実習31	臨床実習36	臨床実習41	臨床実習46	臨床実習51	臨床実習56
2限目	(10:35-11:55)													
3限目	(13:00-14:20)													
4限目	(14:35-15:55)													
5限目	(16:10-17:30)													
			精神医学・心身医学-2 504	精神医学・心身医学-4 504	精神医学・心身医学-5 504	精神医学・心身医学-6 504	精神医学・心身医学-7 504	精神医学・心身医学-9 504	医歯学連携演習-7 504	精神医学・心身医学-10 504	精神医学・心身医学-11 504	精神医学・心身医学-12 504	統合演習 I-22 解説2 口外	統合演習 I-25 解説5 高齢者

令和2年度 授業時間割表 【第5学年】

(後期)

5年生															
月曜日	時間	8月31日	9月7日	9月14日	9月21日	9月28日	10月5日	10月12日	10月19日	10月26日	11月2日	11月9日	11月16日	11月23日	11月30日
1限目	(9:00-10:20)		臨床実習5	臨床実習10	敬老の日	臨床実習16	臨床実習21	臨床実習26	臨床実習31	臨床実習36	臨床実習41	一斉技能試験 対策実習(仮称)	国試模試2 (DES)	勤労感謝の日	一斉技能試験 対策実習(仮称)
2限目	(10:35-11:55)														
3限目	(13:00-14:20)														
4限目	(14:35-15:55)														
5限目	(16:10-17:30)		統合演習 I-40 解説4 生理・薬理	統合演習 I-45 追加試験2		統合演習 I-51 解説3 保存科	統合演習 I-56 追加試験2	統合演習 I-61 解説2 口外	統合演習 I-66 追加試験2	統合演習 I-71 解説3 冠橋義歯	統合演習 I-76 口外3、保健3、 総合歯科1、訪問 歯科1)				
5年生															
火曜日	時間	9月1日	9月8日	9月15日	9月22日	9月29日	10月6日	10月13日	10月20日	10月27日	11月3日	11月10日	11月17日	11月24日	12月1日
1限目	(9:00-10:20)	臨床実習 (オリエンテーション)	臨床実習6	臨床実習11	秋分の日	臨床実習17	臨床実習22	臨床実習27	臨床実習32	臨床実習37	文化の日	臨床実習45	国試模試2 (DES)	臨床実習52	臨床実習56
2限目	(10:35-11:55)														
3限目	(13:00-14:20)	臨床実習1													
4限目	(14:35-15:55)														
5限目	(16:10-17:30)	統合演習 I-36 試験(保健2、保 健2)	統合演習 I-41 解説4 生化学・感染	統合演習 I-46 追加試験2		統合演習 I-52 解説4 保存科・障害者	統合演習 I-57 追加試験3	統合演習 I-62 解説3 麻酔	統合演習 I-67 追加試験2	統合演習 I-72 自己学習	統合演習 I-80 解説3 口外	統合演習 I-87 解説2 矯正歯科	統合演習 I-91 追加試験1		
5年生															
水曜日	時間	9月2日	9月9日	9月16日	9月23日	9月30日	10月7日	10月14日	10月21日	10月28日	11月4日	11月11日	11月18日	11月25日	12月2日
1限目	(9:00-10:20)	臨床実習2	臨床実習7	臨床実習12	国試模試1 (麻布)	臨床実習18	臨床実習23	臨床実習28	臨床実習33	臨床実習38	臨床実習42	臨床実習46	臨床実習49	臨床実習53	臨床実習57
2限目	(10:35-11:55)														
3限目	(13:00-14:20)														
4限目	(14:35-15:55)														
5限目	(16:10-17:30)	統合演習 I-37 解説1 保健	統合演習 I-42 解説6 病理・理工	統合演習 I-47 追加試験3		統合演習 I-53 解説5 歯周病	統合演習 I-58 試験(口外2、麻酔 2、放2、高齢2)	統合演習 I-63 解説4 画像	統合演習 I-68 (補綴2)	統合演習 I-73 追加試験1	統合演習 I-77 解説1 保健	統合演習 I-81 解説3 総合・訪問	統合演習 I-84 追加試験3	統合演習 I-88 解説3 保存科	統合演習 I-92 追加試験2
5年生															
木曜日	時間	9月3日	9月10日	9月17日	9月24日	10月1日	10月8日	10月15日	10月22日	10月29日	11月5日	11月12日	11月19日	11月26日	12月3日
1限目	(9:00-10:20)	臨床実習3	臨床実習8	臨床実習13	国試模試1 (麻布)	臨床実習19	臨床実習24	臨床実習29	臨床実習34	臨床実習39	臨床実習43	臨床実習47	臨床実習50	臨床実習54	臨床実習58
2限目	(10:35-11:55)														
3限目	(13:00-14:20)														
4限目	(14:35-15:55)														
5限目	(16:10-17:30)	統合演習 I-38 解説3 社会	統合演習 I-43 自己学習	統合演習 I-48 試験(小2、矯正2、患 2、保2、歯周2)		統合演習 I-54 自己学習	統合演習 I-59 解説1 口外	統合演習 I-64 解説5 高齢者	統合演習 I-69 解説2 有床・インプラント	統合演習 I-74 追加試験2	統合演習 I-78 解説2 社会	統合演習 I-82 追加試験1	統合演習 I-85 試験(小3、矯正 3、保3、保3、歯周 3)	統合演習 I-89 解説4 保存科・障害者	統合演習 I-93 追加試験3
5年生															
金曜日	時間	9月4日	9月11日	9月18日	9月25日	10月2日	10月9日	10月16日	10月23日	10月30日	11月6日	11月13日	11月20日	11月27日	12月4日
1限目	(9:00-10:20)	臨床実習4	臨床実習9	臨床実習14	臨床実習15	臨床実習20	臨床実習25	臨床実習30	臨床実習35	臨床実習40	臨床実習44	臨床実習48	臨床実習51	臨床実習55	臨床実習59
2限目	(10:35-11:55)														
3限目	(13:00-14:20)														
4限目	(14:35-15:55)														
5限目	(16:10-17:30)	統合演習 I-39 解説3 解剖・組織	統合演習 I-44 追加試験1	統合演習 I-49 解説1 小児歯科	統合演習 I-50 解説2 矯正歯科	統合演習 I-55 追加試験1	統合演習 I-60 解説1	統合演習 I-65 追加試験1	統合演習 I-70 解説2 有床・インプラント	統合演習 I-75 追加試験3	統合演習 I-79 解説3 口外	統合演習 I-83 追加試験2	統合演習 I-86 解説1 小児歯科	統合演習 I-90 解説5 歯周病	統合演習 I-94 口外4、麻酔3、放 3、高齢者3)

医歯学連携演習【演習】

科目番号 OD051304

前期：16コマ

評価責任者：小島 寛

大星博明

廣藤卓雄

谷口省吾

徳本正憲

鳥巢浩幸

岡暁子

池邊哲郎

八田光世

川野庸一

池田哲夫

森田浩光

担当教員：古村南夫

柴口塊

城戸寛史

吉永泰周

井上敏生

佐々木三奈

内藤徹

山野貴史

神代竜一

金光芳郎

梅崎陽二郎

古賀千尋

(一般目標)

口腔医学の観点から歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、口腔と全身の関わりを理解する。

(教育方法)

スライドによる解説

授業資料（印刷物）を用いた解説

(学習方法)

事前配布された授業資料に目を通し、予習する。

授業に関連した国家試験過去問を確認して復習する。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：13.0時間】

(評価)

客観試験を行う。

フィードバックの時期や方法は設定しないので、各自が担当教員に質問する。

(教科書)

指定しない。

(参考書)

指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	コンピューター	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/7	大星博明 廣藤卓雄	歯科診療時の全身状態の把握	歯科診療時に全身状態を把握する習慣を身につける。	貧血および黄疸を説明する。 末梢血検査データを評価する。 血液生化学検査データを評価する。 肝機能検査結果を評価する。 腎機能検査結果を評価する。 呼吸器系検査結果を評価する。	III-5 III-5 III-5 III-5 III-5 III-5	認知（想起） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈）	なし	
2	4/14	谷口省吾 徳本正憲	救急医療	歯科診療上重要な救急時の初期対処方法と救命・救急の基本を理解する。	AEDについて説明する。 意識消失した患者の対応と鑑別診断を列挙する。 呼吸困難を訴える患者の対応と鑑別診断を列挙する。 胸痛を訴える患者の対応と鑑別診断を列挙する。	III-19 III-19 III-19 III-19	認知（想起） 認知（想起） 認知（想起） 認知（想起）	事前配布資料の熟読	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
3	4/22	鳥巢浩幸 岡 暁子	歯科診療に影響する疾患 1	歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。	先天性心疾患と歯科治療との関係を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					血液・造血器疾患と歯科治療との関係を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)		
					悪性新生物と歯科治療との関係を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)		
					アレルギー疾患および免疫疾患について説明する。	Ⅲ-17	情意 (模擬対人対応)		
4	4/27	池邊哲郎 八田光世	薬理学	歯科診療時に処方する、あるいは、他施設において処方されている代表的な薬剤の適応、効能、副作用を学び、特に歯科治療に関連する注意点と対処法を理解する。	歯肉増殖をきたす薬剤とその適応となる疾患を列挙する。	Ⅲ-20	認知 (想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					歯肉の着色をきたす薬剤とその適応となる疾患を列挙する。	Ⅲ-20	認知 (想起)		
					口腔ジスキネジアを誘発する薬剤とその適応となる疾患を列挙する。	Ⅲ-20	認知 (想起)		
					口腔乾燥を誘発する薬剤とその適応となる疾患を列挙する。	Ⅲ-20	認知 (想起)		
5	5/14	大星博明 八田光世	薬理学	歯科診療時に処方する、あるいは、他施設において処方されている代表的な薬剤の適応、効能、副作用を学び、特に歯科治療に関連する注意点と対処法を理解する。	出血傾向をきたす薬剤を列挙し、その効果、必要性、半減期、対処法を説明する。	Ⅲ-20	認知 (想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					降圧薬、抗不整脈薬、強心薬の副作用を説明する。	Ⅲ-20	認知 (想起)		
					糖尿病治療薬の副作用を説明する。	Ⅲ-20	認知 (想起)		
					高齢患者の薬物治療における注意点を説明する。	Ⅲ-20	認知 (想起)		
6	5/19	大星博明 川野庸一 池邊哲郎	口腔症状から発見できる全身疾患	口腔症状から発見できる全身疾患を症候別に理解する。	口腔粘膜のびらん・潰瘍性病変から発見できる全身疾患を列挙する。	Ⅲ-18	認知 (想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					歯肉出血や抜歯後出血から発見できる全身疾患を列挙する。	Ⅲ-18	認知 (想起)		
					口腔顎顔面領域の疼痛から発見できる全身疾患を列挙する。	Ⅲ-18	認知 (想起)		
					口腔顎顔面領域の神経学的異常から発見できる全身疾患を列挙する。	Ⅲ-18	認知 (想起)		
					口腔内の色素沈着から発見できる全身疾患を列挙する。	Ⅲ-18	認知 (想起)		
7	5/22	池田哲夫 森田浩光	歯科診療に影響する疾患 2	歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。	担当がん患者の歯科治療上の注意点を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					免疫不全状態の患者とその歯科治療上の注意点を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)		
					周術期の口腔管理を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)		
8	5/25	古村南夫 柴口 塊	歯科診療に影響する疾患 2	歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。	歯科診療で使用する金属によるアレルギーについて説明する。	Ⅲ-18	認知 (想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					化学物質によるアレルギーについて説明する。	Ⅲ-17	認知 (想起)		
					歯科診療をきっかけに診断される皮膚疾患を列挙する。	Ⅲ-17	認知 (想起)		
9	5/26	大星博明 城戸寛史 吉永泰周	歯科診療に影響する疾患 2	歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。	糖尿病患者の歯科治療上の注意点を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					歯科治療と関連が深い細菌感染症の病態を説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)		
					歯科診療時に注意を要する内分泌疾患について説明する。	Ⅲ-19	認知 (想起)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
10	6/1	井上敏生 佐々木三奈	高齢者	加齢・老化に伴い増加する疾患を学び、高齢者の歯科治療上の注意点を理解する。	骨粗鬆症を説明する。	Ⅲ-17	認知(想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					骨粗鬆症の治療薬について説明する。	Ⅲ-20	認知(想起)		
					顎骨壊死をきたす薬剤を服用する患者への対応を説明する。	Ⅲ-19	認知(想起)		
11	6/2	大星博明 内藤 徹	高齢者	加齢・老化に伴い増加する疾患を学び、高齢者の歯科治療上の注意点を理解する。	高齢者に多くみられる全身疾患を列挙する。			事前配布資料の熟読	1.0
					高齢者によくみられる病態を学び、その治療と予防を説明する。	Ⅲ-17	認知(想起)		
					加齢・老化に伴う臓器の変化と歯科治療上の留意点を説明する。	Ⅲ-17	認知(想起)		
					高齢者の嚥下障害の特徴と対応を説明する。	Ⅲ-17	認知(想起)		
12	6/8	山野貴史 神代竜一	高齢者	加齢・老化に伴い増加する疾患を学び、高齢者の歯科治療上の注意点を理解する。	経口摂取困難患者への対応を説明する。	Ⅲ-14	認知(想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					栄養状態を評価する。	Ⅲ-14	認知(解釈)		
					経静脈栄養と経腸栄養の長所・短所を説明する。	Ⅲ-14	認知(想起)		
13	6/9	金光芳郎 梅崎陽二郎	歯科心身症	歯科診療において心身両面への配慮が必要な疾患を理解する。	歯科治療でみられる不安による疾患について説明する。	Ⅲ-16	認知(想起)	事前配布資料の熟読	1.0
					慢性疼痛に対する治療法について説明する。	Ⅲ-18	認知(想起)		
					歯科治療恐怖症について説明する。	Ⅲ-16	認知(想起)		
					舌痛症について説明する。	Ⅲ-16	認知(想起)		
14	6/15	山野貴史 池邊哲郎	頭頸部領域の診断と治療	歯科診療上重要な頭頸部領域の主な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、歯科疾患との関わりを理解する。	中耳疾患と顎関節疾患を鑑別する。	Ⅲ-19	認知(解釈)	事前配布資料の熟読	1.0
					鼻・副鼻腔疾患と口腔疾患との関連性について説明する。	Ⅲ-19	認知(想起)		
					咽頭疾患の病因・病態と診断・治療を説明する。	Ⅲ-19	認知(想起)		
					歯科診療時に診断できる頸部腫瘍を列挙する。	Ⅲ-18	認知(想起)		
15	6/16	古賀千尋	頭頸部領域の診断と治療	歯科診療上重要な頭頸部領域の主な疾患の病因・病態と診断・治療を学び、歯科疾患との関わりを理解する。	睡眠時無呼吸症候群の病態を説明する。	Ⅲ-17	認知(想起)	事前配布資料の熟読	
					終夜睡眠ポリグラフ検査結果を評価する。	Ⅲ-17	認知(解釈)		
					睡眠時無呼吸症候群に対する各種治療法を列挙し、口腔内装置の奏功機序と適応基準を説明する。	Ⅲ-17	認知(想起)		
					睡眠時無呼吸症候群に対する外科的治療法を説明する。	Ⅲ-17	認知(想起)		
16	6/23		歯科診療に影響する疾患3	歯科診療中に遭遇しやすい疾患の概要を再学習し、その疾患と関連する歯科治療上の注意点を理解する。	心臓の刺激伝導系を説明する。	Ⅲ-20	認知(想起)	事前配布資料の熟読	
					心不全の病態を説明する。	Ⅲ-19	認知(想起)		

精神医学・心身医学 【講義】

科目番号 OD051302

前期：15コマ

評価責任者：金光芳郎

担当教員：金光芳郎、澤本良子

(一般目標)

精神医学・心身医学の基礎的な知識を身につけ、精神疾患・心身症から歯科領域に至る様々な疾患を、心身両面から統合的に理解する能力を養う。

(教育方法)

講義

(学習方法)

講義前後に参考書や関連書籍の該当箇所を読み、講義内容を理解する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間：15.0 時間】

(評価)

定期試験（客観試験）による評価：試験後、模範解答を提示

(教科書)

指定なし

(参考書)

現代臨床精神医学 第12版 大熊輝雄著 金原出版 2013年
 標準精神医学 第6版 野村総一郎、樋口輝彦監修、医学書院、2015年
 学生のための精神医学 第3版 太田保之、上野武治編 医歯薬出版 2014年
 T E X T精神医学 第4版 加藤進昌、神庭重信編 南山堂 2012年
 カプラン臨床精神医学テキスト 第3版 井上令一監修 メディカルサイエンスインターナショナル 2016年
 心身医学標準テキスト 第3版 久保千春編 医学書院 2009年
 歯科心身医学 日本歯科心身医学会編 医歯薬出版 2003年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1	4/8	金光芳郎	ユニット1 精神医学・心身医学総論	精神医学・心身医学について理解する。	精神医学・心身医学の歴史を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					精神保健の基礎的概念とシステムの現状を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
					精神疾患の診断法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
					精神症候を説明する。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
					代表的な心理テストと心理療法ならびに脳波、画像検査を説明する。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
2	4/10	金光芳郎	ユニット2 心身症	心身症について理解する。	心身症、心身医学、心療内科を説明する。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					心身症の病態について心身相関から説明する。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
3	4/15	金光芳郎	ユニット2 心身症	心身症について理解する。	代表的な心身症をあげ、それらの病態について述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					代表的な心身症について、それらの診断と治療について述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4	4/17	金光芳郎	ユニット2 心身症	心身症について理解する。	代表的な小児心身症、思春期心身症、女性心身症をあげ、特徴、病態、治療法を述べる(夜尿症、吃音症、異食症、夜驚症、不安障害、チック、周期性嘔吐症、起立性調節障害、不登校、注意欠陥/多動性障害、学習障害、発達障害、摂食障害、月経前症候群、更年期障害)。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
5	4/24	金光芳郎	ユニット2 心身症	心身症について理解する。	摂食障害(神経性食欲不振症、過食症)について、特徴、病態を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					摂食障害の認知行動療法について説明できる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
6	5/1	金光芳郎	ユニット2 心身症	心身症について理解する。	代表的な神経系の心身症をあげ、特徴、病態、治療法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					心理生理学的治療法について説明できる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
7	5/8	金光芳郎	ユニット2 心身症	心身症について理解する。	歯科心身症について、どのような特徴があるのか述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					歯科心身症の診断と治療について説明できる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
8	5/13	澤本良子	ユニット2 心身症	心身症について理解する。	肥満症の病理について説明できる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					肥満症の認知行動療法について説明できる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
9	5/15	金光芳郎	ユニット3 精神疾患	精神疾患について理解する。	統合失調症の病因論と病態、予後について知る。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					統合失調症の治療法について説明する。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
10	5/29	金光芳郎	ユニット3 精神疾患	精神疾患について理解する。	うつ病、躁うつ病の特徴、病態、病前性格、症状、診断、治療法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					単極型、双極型うつ病、特殊なうつ病について説明する。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
11	6/5	金光芳郎	ユニット3 精神疾患	精神疾患について理解する。	神経症の各病型(パニック障害、社交不安障害、強迫性障害、全般性不安障害、心的外傷後ストレス障害)、不安障害の関連疾患(身体症状症、心気症、解離性障害)の特徴、病態、症状、治療法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					歯科領域の不安障害(歯科恐怖症、神経反射性失神、過換気症候群)について特徴、病態、症状、治療法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
12	6/12	金光芳郎	ユニット3 精神疾患	精神疾患について理解する。	発達障害の特徴、病態、症状、治療法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					パーソナリティ障害の特徴、病態、症状、治療法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
13	6/17	金光芳郎	ユニット3 精神疾患	精神疾患について理解する。	高齢者の心理を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					せん妄、認知症の特徴、原因、病態、症状、治療法を述べる。アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、若年性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉型変性症について述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
					高齢者への対応を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
14	6/24	金光芳郎	ユニット3 精神疾患	精神疾患について理解する。	アルコール、アヘン、大麻、覚せい剤、幻覚剤、ニコチンなどの依存症の特徴、病態、症状、治療法を述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					てんかんの分類、検査、について述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
					器質性精神病、症状精神病について代表的なものを述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		
15	7/1	金光芳郎	ユニット3 精神疾患	精神疾患について理解する。	睡眠の意義とその生理学的特性について述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)	参考図書、関連資料の該当箇所を調べておく。	1.0
					睡眠障害(不眠症・過眠症)の病態とその治療法について述べる。	Ⅲ-16	認知(解釈)		

統合演習 I 【演習】

科目番号 OD051405

通年：120コマ

評価責任者：

廣藤 卓雄、米田 雅裕、内藤 徹、森田 浩光、阿南 壽、坂上 竜資、松浦 尚志、都築 尊、城戸 寛史、尾崎 正雄、小島 寛、玉置 幸雄、池邊 哲郎、平木 昭光、湯浅 賢治、谷口 省吾、大星 博
担当教員：明、金光 芳郎、山野 貴史、川野 庸一、鳥巢 浩幸、井上 敏生、古村 南夫、池田 哲夫、埴岡 隆、渡辺 猛、壬生 正博、永嶋 哲也、梅津 桂子、藤田 亜美、田中 芳彦、都留 寛治、稲井哲一朗、畠山 雄次、橋本 修一、岡部 幸司、日高 真純、八田 光世

（一般目標）

安全で質の高い思いやりのある歯科医療を行うために必要な知識を修得する。

（教育方法）

過去の国家試験問題の学習範囲を指定し、その範囲に応じた試験を定期的実施する。
試験実施後に解説を行い知識の定着を図る。

（実習・演習）

（学習方法）

実践に掲載されている問題を繰り返し学習し知識を定着させること。
知識の定着状況は定期的に行う試験にて確認を行い、疑問点は試験解説授業の受講時に解消すること。
試験解説を聞いても不明な点がある場合は教員に質問を行うこと。
上記方法で一つ一つ疑問を解消し、有機的に知識を深めること。

（評価）

成績評価の詳細は年度初めに配布する試験実施要領にて確認すること。
成績は試験終了後、個人別に結果を配付する。

（教科書）

特に指定しない。

（参考書）

実践2020（既に購入済み。）

臨床実習(共通) 【実習】

科目番号 OD051404A

通年：592コマ

評価責任者：尾崎 正雄

担当教員：
 尾崎正雄（小児歯科）
 坂上竜資（保存・歯周病科）
 阿南壽（保存・歯周病科）
 城戸寛史（口腔インプラント科）
 池邊哲郎（口腔外科・スポーツ歯科）
 香川豊宏（放射線診断科）
 谷口省吾（麻酔科）
 廣藤卓雄（総合歯科）
 内藤徹（高齢者歯科）
 玉置幸雄（矯正歯科）
 小島寛（障害者歯科）
 埴岡隆（総合歯科）

（一般目標）

安全で質の高い、思いやりのある歯科医療を行うために必要な知識・態度・技術を習得する。

（教育方法）

病院・口腔医療センター等の医療現場において、指導医の監督のもと、一般目標に到達できるよう、教育を行う。
 （実習・演習）（その他AL）

（学習方法）

病院・口腔医療センター等の医療現場において、指導医の監督のもと、基本診療ケースに記載の行動目標に準じた内容を実施していく。【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 時間】

（評価）

成績評価及びフィードバックについてはオリエンテーションにて説明を行う。

（教科書）

特に指定しない。

（参考書）

特に指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（GIO）	行動目標（SBOs）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1			医療面接系	医療面接ができる （患者実習/資源：同意の得られた患者）	挨拶、自己紹介、患者さんの確認ができる	IV-2	情意（模擬対人対応）		
					患者さんに適切な態度で接することができる	II-3	情意（模擬対人対応）		
					積極的な傾聴的・共感的態度がとれる	II-3	情意（模擬対人対応）		
					主訴・現症・現病歴をきくことができる	IV-1	情意（模擬対人対応）		
					既往歴・常用薬・アレルギーをきくことができる	IV-1	情意（模擬対人対応）		
					家族歴・生活環境（喫煙歴等）についてきくことができる	IV-1	情意（模擬対人対応）		
					適切に歯式がとれる	IV-2	情意（模擬対人対応）		
					訴えの要約ができる	IV-2	情意（模擬対人対応）		
					指導医に内容を伝達できる	IV-2	情意（模擬対人対応）		
2			検査系	基本的検査ができる ①：全身状態と口腔外の検査ができる （患者実習/資源：同意の得られた患者）	これから基本的検査を行うことを伝えることができる	IV-3	情意（実践状況対応）		
					全身・顔面・顎の視診ができる	IV-2	情意（実践状況対応）		
					口腔外（顔面・顎）を適切に触診できる	IV-2	情意（実践状況対応）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
3			検査系	基本的検査ができる ②：口腔内および歯の検査ができる (患者実習/資源：同意の得られた患者)	不快感や痛みに配慮できる 視診により口腔粘膜、歯および咬合の検査ができる 視診により歯ならびに咬合の検査ができる 適切な触診ができる 適切な打診ができる 適切な温度診ができる 適切な動揺度検査ができる 一次診断ができる	IV-2 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-4	精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体)		
4			検査系	歯周基本検査ができる (ロールプレイ/資源：学生、患者実習/資源：同意の得られた患者)	視診で歯肉状態を確認できる ブラーク指数測定ができる 歯周ポケットプローブを用いてポケットの測定ができる プロービング時の出血と排膿が評価できる 歯周病の診断ができる	IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-6	精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (支援部分) 精神運動 (支援部分) 精神運動 (自律部分・支援全体)		
5			検査系	口腔内写真および顔面写真の撮影を行うことができる (患者実習 / 資源：同意の得られた患者、ロールプレイ / 資源：学生)	これから行うことを説明できる 必要な器具が用意できる 介助者へ指示ができる 適切な撮影ができる	IV-3 IV-3 IV-3 IV-3	精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (支援部分) 精神運動 (支援部分)		
6			検査系	口内法エックス線検査ができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	感染対策ができる 患者誘導時に本人確認ができる これから行うことを説明できる 防護エプロンを装着できる 頭部を正しく固定できる 適切なIPの位置づけができる IPの保持を正しく指導できる 患者の安全に配慮した照射筒の操作ができる 照射筒を正しく設定できる 患者の様子を注意しながら照射できる 患者に不快感をあたえることなく、IPを口腔内から取り出すことができる 感光させることなく、IPのスキャンができる	IV-15 IV-15 II-3 IV-15 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-15 IV-15 IV-3	精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律全体)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
7			検査系	診断用模型検査ができる ①：概形印象採得を適切に行うことができる（ロールプレイ/資源：学生、患者実習/資源：同意の得られた患者）	印象用トレーの試適・調整ができる 印象採得に際して嘔吐反射への対応・配慮ができる 印象用トレー内を適切に圧接できる	IV-7 IV-7 IV-7	情意（実践状況対応） 情意（実践状況対応） 情意（実践状況対応）		
8			検査系	診断用模型検査ができる ②：研究用模型を作製し、咬合状態の検査ができる（ロールプレイ/資源：学生、患者実習/資源：同意の得られた患者）	印象採得後の消毒ができる 印象面に適切に石膏を注入できる 石膏硬化後、印象材から除去できる 適切にトリミングできる 咬合状態の確認ができる	III-21 III-21 III-21 IV-7 IV-7	認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈） 認知（解釈）		
9			検査系	診療記録の記載ができる（患者実習/資源：同意の得られた患者）	適切な筆記具を用いて記載した 他人が見読できる記載を行った（適切な訂正も含む） 基本事項をもらさず記載した 所見を漏らさず記載した 歯式を正確に記載できた 診察結果をもらさず記載した エックス線検査結果を記載した 病名及び治療方針を記載した 診療行為をもらさず記載した POSによる診療録を作成した	IV-2 IV-2 IV-2 IV-2 IV-2 IV-2 IV-2 IV-2 IV-2 IV-2	精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体）		
10			説明系	診療に関する説明ができる ①：歯周病について説明ができる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	説明の開始にあたって、環境を整えることができる 歯周治療の流れを説明できる 歯周基本治療の内容を説明できる 歯周基本検査の結果を基に治療計画を説明できる メンテナンスについて説明できる 説明の終わりに、疑問点を確認できる	IV-5 IV-5 IV-6 IV-4 IV-6 IV-5	精神運動（自律部分・支援全体） 精神運動（自律部分・支援全体） 精神運動（自律部分・支援全体） 精神運動（支援部分） 精神運動（自律部分・支援全体） 精神運動（自律部分・支援全体）		
11			説明系	診療に関する説明ができる ②：う蝕治療について説明ができる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	説明の開始にあたって、環境を整えることができる 各種の検査結果について説明できる 治療する修復方法について説明できる メンテナンスについて説明できる 説明の終わりに、疑問点を確認できる	IV-1 IV-3 IV-4 IV-5 IV-5	精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分） 精神運動（支援部分）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
12			説明系	診療に関する説明ができる ③：歯質欠損に関する説明ができる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	説明の開始にあたって、環境を整えることができる	IV-1	情意（実践状況対応）		
					補綴治療の流れを説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					歯質欠損の原因を説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					補綴方法の説明ができる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					メンテナンスについて説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
説明の終わりに、疑問点を確認できる	IV-1	情意（実践状況対応）							
13			説明系	診療に関する説明ができる ④：歯の欠損に関する説明ができる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	説明の開始にあたって、環境を整えることができる	IV-1	情意（実践状況対応）		
					補綴装置の構造と作用を説明できる	III-9	情意（実践状況対応）		
					補綴装置装着後の清掃指導ができる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					可撤性補綴装置装着後の取り扱いについて説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					メンテナンスについて説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
説明の終わりに、疑問点を確認できる	IV-1	情意（実践状況対応）							
14			説明系	診療に関する説明ができる ⑤：基本的な矯正装置の構造・作用と使用時の注意事項を説明できる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	説明の開始にあたって、環境を整えることができる	IV-5	精神運動（自律部分・支援全体）		
					矯正治療の経過を説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					矯正装置の構造と作用を説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					矯正装置使用時の注意事項を説明できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
					説明の終わりに、疑問点を確認できる	IV-5	情意（実践状況対応）		
15			技能系	処方箋の作成ができる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	患者の氏名、年齢を記載または確認できる	IV-4	認知（解釈）		
					薬名・分量・用法・用量を記載または確認できる	IV-4	認知（解釈）		
					発行の年月日を記載できる	IV-4	認知（解釈）		
					病院若しくは診療所の名称及び所在地又は医師の住所を記載し、記名押印または署名した	IV-4	認知（解釈）		
16			技能系	レジン修復（CR充填・GIC充填）ができる ①：窩洞形成ができる（シミュレーション実習 / 資源：マネキン、患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	罹患歯質の除去が完全にできる	IV-6	精神運動（自律全体）		
					適切な窩洞外形の設定ができる	IV-6	精神運動（自律全体）		
					適切な窩縁斜面が付与できる（CR修復のみ）	IV-6	精神運動（自律全体）		
17			技能系	レジン修復（CR充填・GIC充填）ができる ②：接着処置ができる（CR修復のみ）（シミュレーション実習 / 資源：マネキン、患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	処理前に窩洞を乾燥できる	IV-6	精神運動（自律全体）		
					処理剤を窩洞内のみに塗布できる	IV-6	精神運動（自律全体）		
					ボンディング剤を正しく乾燥できる	IV-6	精神運動（自律全体）		
					適切な光照射ができる	IV-6	精神運動（自律全体）		
					患者の不快感に配慮した操作ができる	IV-6	精神運動（自律全体）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
18			技能系	レジン修復 (CR充填・GIC充填) ができる ③: 充填ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	正しく色調選択ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					気泡が混入しないように充填ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					適切にCR(GIC)の充填ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					適切な光照射ができる (CR修復)	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					唾液による汚染がない	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					充填量が適切	IV-6	精神運動 (自律全体)		
19			技能系	レジン修復 (CR充填・GIC充填) ができる ④: 形態修正および研磨ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	充填材料と高縁の移行がスムーズである	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					充填材料を切削しすぎている	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					充填材料表面が滑沢である	IV-6	精神運動 (自律全体)		
20			技能系	口腔衛生指導ができる (患者実習/資源: 同意の得られた患者)	歯垢染色液を用いて、ブラークコントロールレコードを記録・計算できる	IV-3	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					患者に適した歯ブラシを選択できる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					適切なブラッシング指導ができる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					補助的清掃器具の使用法を説明できる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
21			技能系	簡単な歯周治療ができる ①: スケーリング・ルートプレーニングができる (ロールプレイ/資源: 学生、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	プローブを用いて、術前のポケット深さ、根面の粗造感を確認できる	IV-6	精神運動 (支援部分)		
					施術部位に対して適切なスケーラーを選択できる	IV-6	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					スケーラー刃部を歯面に対して適切な角度で使用できる	IV-6	精神運動 (支援部分)		
					患者の安全に配慮した器具の操作が出来る	IV-6	精神運動 (支援部分)		
					プローブを用いて、術後の根面の粗造感を確認できる	IV-6	精神運動 (支援部分)		
22			技能系	簡単な歯周治療ができる ②: 歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる (ロールプレイ/資源: 学生、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	口腔清掃の重要性を説明できる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					全身疾患と歯周病の関連を説明できる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					喫煙による影響を説明できる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					食生活の指導ができる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					メンテナンスの重要性を説明できる	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)		
23			技能系	簡単な歯周治療ができる ③: 歯周外科手術や抜歯術の後処置ができる (ロールプレイ/資源: 学生、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	患者から術後の経過を聞き取れる	IV-2	精神運動 (支援部分)		
					清潔域に配慮して適切な後処置ができる	IV-2	精神運動 (支援部分)		
					患者の安全に配慮して適切な後処置ができる	IV-2	精神運動 (支援部分)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
24			技能系	簡単な歯内療法ができる ①: ラバーダム防湿ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	クランプの試適ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					緊密なラバーダム防湿ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					適切にフレームを装着できる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
25			技能系	簡単な歯内療法ができる ②: 天蓋除去・髄腔開拓ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	咬頭削除に過不足がない	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					すべての根管口が目視可能である	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					冠部歯質が十分保存されている	IV-6	精神運動 (自律全体)		
26			技能系	簡単な歯内療法ができる ③: 根管形成ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	アピカルシートの形成ができる	IV-6	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					必要十分な太さの根管拡大ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					ファイルにブレカーブの付与ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
27			技能系	簡単な歯内療法ができる ④: 根管長測定ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	電氣的根管長測定器の使用ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					レントゲンにより根管長の確認できる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					測定結果を適切に記録できる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
28			技能系	簡単な歯内療法ができる ⑤: 根管洗浄ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	シリンジを用いて交互洗浄ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					根管内乾燥ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
29			技能系	簡単な歯内療法ができる ⑥: 根管充填ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	適切なマスターポイントの選択と試適ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					過不足ない根管充填ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					器具 (スプレッター、プラグー) を適切に使用できる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
30			技能系	簡単な歯内療法ができる ⑦: 仮封ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	過不足ない仮封ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
					緊密な仮封ができる	IV-6	精神運動 (自律全体)		
31			技能系	簡単な固定性欠損補綴処置ができる ①: 支台築造法の選択および実施ができる (シミュレーション実習/資源: マネキン、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	残存歯質の状態を診査した上で支台築造法を選択できる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					フェルルール (帯環効果) を確保した形成が確認できる	IV-7	情意 (実践状況対応)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
32			技能系	簡単な固定性欠損補綴処置ができる ②：歯冠修復のための支台歯形成および平行性に問題のないブリッジの支台歯形成ができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	形成面に応じた切削器具の選択ができる タービンを適切に使用できる 適切なタービンの保持ができる 形成時のフィンガーレストが適切にできる 歯髄の保護に留意した形成ができる ガイドグループの形成ができる 隣接歯および対合歯との咬合関係、クリアランスの確認ができる	IV-7 IV-7 IV-7 IV-7 IV-7 IV-7 IV-7	情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応)		
33			技能系	簡単な固定性欠損補綴処置ができる ③：テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製でき、適切に支台歯に仮着することができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	作製予定の支台歯表面に分離剤を塗布した レジン填入後の既製樹脂冠 (レジン塊) の支台歯への圧接が適切にできる レジン硬化前に着脱・撤去操作ができる テンポラリークラウン (ブリッジ) の調整ができる 支台歯にテンポラリークラウン (ブリッジ) を仮着できる	IV-7 IV-7 IV-7 IV-7 IV-7	情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応)		
34			技能系	簡単な固定性欠損補綴処置ができる ④：精密印象採得を適切に行うことができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	印象用トレーの試適・調整ができる 寒天またはシリコーンライトボディを適切に注入できる 印象用トレー内を適切に圧接できる	IV-7 IV-7 IV-7	情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応)		
35			技能系	簡単な固定性欠損補綴処置ができる ⑤：完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着ができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	完成したクラウン (ブリッジ) の両隣接歯の接触状態の確認ができる 完成したクラウン (ブリッジ) のマージン適合を確認できる 完成したクラウン (ブリッジ) の咬頭嵌合位での咬合接触の調整ができる 完成したクラウン (ブリッジ) の偏心運動時での咬合接触の確認ができる 完成したクラウン (ブリッジ) の装着を行うことができる	IV-7 IV-7 IV-7 IV-7 IV-7	情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
36			技能系	簡単な可撤性欠損補綴処置ができる ①：模型診査の結果にもとずいて義歯の設計および支台歯のプレパレーションを適切に実施できる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	サベイヤーを用いて着脱方向の決定ができる	IV-7	認知 (問題解決)		
					サベイヤーを用いてサベイヤラインを記入できる	IV-7	認知 (問題解決)		
					サベイヤーを用いてアンダーカット量を測定できる	IV-7	認知 (問題解決)		
					設計に応じたレストシートおよびガイドプレーン形成ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
37			技能系	簡単な可撤性欠損補綴処置ができる ②：精密印象採得ができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	個人トレーの試適、調整ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					筋圧形成ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					印象採得ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
38			技能系	簡単な可撤性欠損補綴処置ができる ③：咬合採得ができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	咬合床の試適ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					仮想咬合平面の設定ができる (*症例に応じて)	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					咬合高径の決定ができる (*症例に応じて)	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					リップサポートを確認できる (*症例に応じて)	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					標示線の記入ができる (*症例に応じて)	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					顔面の色調、形態を観察できる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
39			技能系	簡単な可撤性欠損補綴処置ができる ④：ろう義歯試適ができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	審美性の確認ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					咬合関係の確認・調整ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					発音の確認ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
40			技能系	簡単な可撤性欠損補綴処置ができる ⑤：義歯の装着・管理ができる (シミュレーション実習/資源：マネキン、患者実習/資源：同意の得られた患者)	適合試験材を適切に使用できる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					中心咬合位の咬合確認ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					偏心位の咬合確認ができる	IV-7	情意 (実践状況対応)		
					定期検診の必要性を説明できる。	IV-7	情意 (実践状況対応)		
41			技能系	バイタルサインの把握ができる ①：脈拍の測定ができる (ロールプレイ/資源：学生、患者実習/資源：同意の得られた患者)	正しい部位、正しい指の使い方、脈拍数を測定することができる	III-19	認知 (問題解決)		
					左右差の有無を確認することができる	III-19	認知 (問題解決)		
					不整脈の有無を確認できた	III-19	認知 (問題解決)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
42			技能系	バイタルサインの把握ができる ②: 血圧の測定ができる (ロールプレイ/資源: 学生、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	上腕の高さを正しく調節できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
					上腕動脈の位置を同定できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
					マンシエットを正しい位置に、正しい強さで巻くことができる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
					触診法で収縮期血圧を測定できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
					適切に加圧できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
					適切に減圧できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
					測定値を正しく記載もしくは口頭伝達できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
43			技能系	バイタルサインの把握ができる ③: 呼吸の測定ができる (ロールプレイ/資源: 学生、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	時計以外の器具を使用せずに、呼吸数を測定できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
					パルスオキシメータを使用して、酸素飽和度が測定できる	Ⅲ-19	認知 (問題解決)		
44			技能系	局所麻酔 (浸潤麻酔) ができる (ロールプレイ/資源: 学生、患者実習/資源: 同意の得られた患者)	浸潤麻酔に必要な器具を選択できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					患者の全身状態に応じて歯科用局所麻酔カートリッジを選択できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					注射器を正しく準備できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					処置に応じたポジショニングができる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					部位や処置に応じて、適切な部位に刺入できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					清潔、安全性、痛みおよび不快感に配慮した操作ができる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
45			技能系	簡単な抜歯ができる (患者実習/資源: 同意の得られた患者)	抜歯の手順と偶発症を患者に説明できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					抜歯器具の準備ができる (適切なヘーベルと鉗子を選択できる)	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					口腔内を消毒できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					歯周靭帯を切断できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					ヘーベルを適切に操作できる (持ち方、歯根膜腔への挿入、動かし方)	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					ヘーベルの滑脱防止ができる (反対の指をそえる)	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					鉗子を適切に操作できる (持ち方、歯頸部の把持、動かし方)	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					抜去歯の根尖を確認できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					抜歯窩を搔爬できる (器具の選択)	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					適切な縫合ができる (持針器の扱い方、針と縫合糸の扱い方、糸切りの仕方)	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					男結びもしくは外科結びができる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					ガーゼで圧迫止血ができる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		
					抜歯後の注意を患者に説明できる	Ⅳ-8	情意 (実践状況対応)		

臨床実習(保存・歯周病) 【実習】

科目番号 OD051404B

通年：

評価責任者：坂上竜資、阿南壽

(歯周病) 吉永泰周*1、大城希美子*1、山本南奈*1、廣松亮*1、有田晴一*1

(保存) 泉利雄*2、松崎英津子*1、松浦洋志*2、松本典祥*1、水上正彦*1、河村隼*1、二階堂美咲*1

担当教員：

*1 保存(むし歯)・歯周病科

*2 口腔医療センター

(一般目標)

(歯周病) 診療参加型臨床実習を通じて歯周治療の診療技能の向上をはかり、歯周治療の基本的な手技についての知識、技能および態度を習得する。

(保存) 診療参加型臨床実習を通じて歯の保存治療の診療技能の向上をはかり、齶蝕を中心とした歯の硬組織疾患治療についての基本的な知識、技能および態度を習得する。

(教育方法)

(歯周病) 診療参加型実習、ポートフォリオ作成、レポート作成

(保存) 診療参加型実習、ポートフォリオ作成、レポート作成

(実習・演習)

(学習方法)

(歯周病)

シラバスに記載している教科書・参考書の該当箇所について予習を行う。

保存・歯周病科外来にて実際の患者の治療の見学や一部診療を行う。

見学した内容についてポートフォリオおよび関連した内容についてレポートを作成する。

実習終了後に作成したポートフォリオおよびレポートについて復習を行う。

(保存)

シラバスに記載している教科書・参考書の該当箇所について予習を行う。

保存・歯周病科外来にて実際の患者の治療の見学や一部診療を行う。

見学した内容についてポートフォリオおよび関連した内容についてレポートを作成する。

実習終了後に作成したポートフォリオおよびレポートについて復習を行う。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：5.0時間】

(評価)

(歯周病)

実習終了時にポートフォリオおよびレポートを評価：ポートフォリオやレポート内容について適宜コメントを行う。

見学ケース数による評価：見学ケース数が少ない場合は通知する。

(保存)

実習終了時にポートフォリオおよびレポートを評価：ポートフォリオやレポート内容について適宜コメントを行う。

見学ケース数による評価：見学ケース数が少ない場合は通知する。

(教科書)

(歯周病)

加藤 熙他著、『新版最新歯周病学』、医歯薬出版株式会社、2011

(現在の歯周病学、歯周治療学を網羅して編纂された教科書)

(保存)

興地隆史、石井信之、小木曾文内編集『第5版 エンドドンティクス』永末書店、2018(最新の歯内療法学を網羅した最も新しい教科書。国家試験の出題資料となっている。)

千田 彰、寺中敏夫、寺下正道、宮崎真至 編集『第6版 保存修復学』医歯薬出版、2013(最新の保存修復学を網羅した教科書。国家試験の出題資料となっている。)

(参考書)

(歯周病)

Jan Lindhe他 『Lindhe臨床歯周病学とインプラント第4版(臨床編)』、クインテッセンス出版、2005

(研究論文に裏づけされた臨床歯周病学のバイブル)

吉江弘正他編、『臨床歯周病学』、医歯薬出版、2007

(現在の歯周病学、歯周治療学を網羅して編纂された教科書)

天野敦雄他監修、『ビジュアル 歯周病を科学する』、クインテッセンス出版、2012

(基礎的な内容がしっかりと盛り込まれた美しいカラーイラストの本)

(保存)

勝海一郎 石井信之 興地隆史 中田和彦 編集 「第5版 歯内治療学」医歯薬出版 2018(最新の歯内治療学を網羅した最も新しい教科書。国家試験に対応した項目立てとなっている。)

田上順次、奈良陽一郎、山本一世、斎藤隆史 監修『第五版 保存修復学21』永末書店、2017(最新の保存修復学を網羅した最も新しい教科書。国家試験に対応した項目立てとなっている。)

日本歯科保存学会、日本歯内療法学会編 「歯内療法学専門用語集」医歯薬出版 2013

日本歯科保存学会編 「保存修復学専門用語集」医歯薬出版 2017

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		泉 利雄、 松崎英津子、松浦洋志、松本典祥、水上正彦、河村隼、二階堂美咲	保存	硬組織疾患の検査・診断・治療ができる	象牙質知覚過敏症の処置ができる	IV-7	認知 (解釈)	教科書を読む。(第6版保存修復学 pp. 79-82)	1.0
2		泉 利雄、 松崎英津子、松浦洋志、松本典祥、水上正彦、河村隼、二階堂美咲	保存	硬組織疾患の検査・診断・治療ができる	歯の隣接面齶蝕の診査及び診断ができる (透照診)	IV-3	認知 (解釈)	教科書を読む。(第6版保存修復学 pp. 54-55)	1.0
3		泉 利雄、 松崎英津子、松浦洋志、松本典祥、水上正彦、河村隼、二階堂美咲	保存	硬組織疾患の検査・診断・治療ができる	歯髄の病態の診査及び診断ができる (歯髄電気診)	IV-6	認知 (解釈)	教科書を読む。(第6版保存修復学 pp. 55-56, エンドドンテイクス第5版 pp. 64-77)、相互実習を行う。	1.0
4		吉永泰周、 大城希美子、山本南奈、廣松亮	歯周病	歯周病の診断・治療計画の立案ができる	歯周組織破壊に関連する局所的な修飾因子を部位ごとに説明できる	Ⅲ-8	認知 (解釈)	教科書を読む (pp. 14-23, pp. 31-35, pp. 71-81)	1.0
					軽度・中等度・重度歯周炎の分類ができる	IV-6	認知 (解釈)		
					大まかな治療計画の立案ができる	IV-4	認知 (問題解決)		
5		吉永泰周、 大城希美子、山本南奈、廣松亮	歯周病	歯内・歯周病変の鑑別診断ができる	歯内歯周病変の検査ができる	IV-3	情意 (模擬対人対応)	教科書を読む (pp. 267-273)	1.0
					歯内歯周病変の分類ができる	IV-6	認知 (解釈)		

臨床実習(補綴・インプラント) 【実習】

科目番号 OD051404C

通年：

評価責任者： 城戸寛史

城戸寛史*1、松浦尚志*2、山口雄一郎*2、谷口祐介*1、森永健三*1、加倉加恵*1、柳東*1、都築尊*2、川口智弘*2、吉田兼義*2、柴口塊*2、濱中一平*2、瀬尾 皓*2、佐藤絢子*1、馬場浩乃*2、加我公行*2、小柳進祐*2、中四良*2、山本勝己*3、津江文武*3、横上智*3、中村恵子*3、土橋佑基*3

担当教員：

*1 口腔インプラント科
*2 補綴(入れ歯)科
*3 口腔医療センター

(一般目標)

安全で質の高い、思いやりのある医療を行うために必要な知識・態度・技術を習得する。

(教育方法)

診療参加型臨床実習
(実習・演習)

(学習方法)

①教科書を読んてくる。

無歯顎補綴治療学
歯学性のパーシャルデンチャー
クラウンブリッジ補綴学
よくわかる口腔インプラント学

②評価シートの項目を読んで、手順をおぼえてくる。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 8.0 時間】

(評価)

評価シートを用いての評価
ポートフォリオを用いての評価

フィードバック時期：ポートフォリオ確認時。評価入力時
フィードバック方法：ポートフォリオの修正。

(教科書)

なし

(参考書)

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(G I O)	行動目標(S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		全員	補綴・インプラント	インプラント埋入手術の術式を説明できる	インプラント体の埋入部位のマーキングができる	IV-7	精神運動(自律部分・支援全体)	よくわかる口腔インプラント学 第4章	1.0
					術野の切開および剥離ができる	IV-7	精神運動(自律部分・支援全体)		
					埋入窩を形成し、インプラント体を埋入できる	IV-7	精神運動(自律部分・支援全体)		
					完全閉鎖創として縫合ができる	IV-7	精神運動(自律部分・支援全体)		
					インプラントの二次手術ができる	IV-7	精神運動(自律部分・支援全体)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
2		全員	補綴・インプラント	インプラントの印象採得法を説明できる	印象用コーピングの適合を確認して連結できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	よくわかる口腔インプラント学 第4章	1.0
					印象用トレーの試適ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					適切な印象採得ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
3		全員	補綴・インプラント	フェイスボウを用いて咬合器装着ができる	バイトフォークを適切な位置で咬合させることができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	無歯顎補綴治療学 第6章	1.0
					後方基準点の位置関係が適切に設定し、固定できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					適切に前方基準点を設定できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					フェイスボウを咬合器に固定できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					適切に上顎模型を咬合器に装着できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
4		全員	補綴・インプラント	チェックバイト法にて咬合器の顎路調節ができる	患者の中心咬合位、前方および側方位を誘導・確認できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	無歯顎補綴治療学 第6章	1.0
					中心咬合位、前方および側方のチェックバイトを採得できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					矢状前方顎路傾斜の調節ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					矢状側方顎路傾斜とベネット角の調節ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
5		全員	補綴・インプラント	義歯床の破損およびリラインに対する処置ができる	破折片が破折面に適合し、復位するかを確認できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	無歯顎補綴治療学 第12章 歯学性のパーシャルデンチャー 第29章	1.0
					破折片を瞬間接着剤で固定できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					破折線に沿ってレジンを築盛のための溝を付与できるまたはレジン新鮮面を出すことができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					常温重合レジンを築盛できる 必要に応じて筋圧形成ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					築盛した部分が移行的になるように削合・研磨できる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6		全員	補綴・インプラント	セラミッククラウンの作製法が説明できる	デジタルワックスアップができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	クラウンブリッジ補綴学 VII オールセラミック修復	1.0
					オペーク陶材の築盛ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					ボディ陶材の築盛ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
7		小柳	補綴・インプラント	加熱重合による義歯の重合手順を説明できる	フラスコ埋没に使用する材料を列記する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	無歯顎補綴治療学P217～228、コンプリートデンチャーテクニックP133～154、配布資料	1.0
					一次埋没、二次埋没、三次埋没を説明する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					流ろうを説明する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					レジン填入を説明する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
8		中	補綴・インプラント	フレームワークの製作手順を説明できる	フレームワーク製作に使用する材料を列記する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	パーシャルデンチャーテクニックP101～108	1.0
					作業用模型の前処理を説明する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					フィニッシュライン、ティッシュストップ、ピーディングを説明する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					耐火模型の製作手順を説明する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					型ごと埋没を説明する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
9		全員	補綴・インプラント	咬合器の種類を説明できる	平均値咬合器と半調節性咬合器を分類する	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)	コンプリートデンチャーテクニックP69～76	1.0
					アルコンタイプ半調節性咬合器の顎路調節ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					コンダイラータイプ半調節性咬合器の顎路調節ができる	IV-7	精神運動 (自律部分・支援全体)		

臨床実習(口腔外科・放射線・麻酔) 【実習】

科目番号 OD051404D

通年：

評価責任者：池邊哲郎*1、谷口省吾*3、香川豊宏*2

(口腔外科) 平木昭光*1、橋本憲一郎*1、米津博文*1、佐々木三奈*1、吉住潤子*1、勝俣由里*1、田中文恵

*1、横尾嘉宣*1、首藤俊一*1、古賀千尋*4、中山敬介*4

(放射線) 香川豊宏*2、筑井朋子*2、吉田祥子*2、米津康一*2、三輪邦弘*2、瀬々良介*2

(麻酔) 谷口省吾*3、富永晋二*3、野上堅太郎*3、吉武慎一郎*3、小川美香*3

担当教員：

*1 口腔外科・スポーツ歯科

*2 放射線診断科

*3 麻酔科

*4 口腔医療センター

(一般目標)

(口腔外科) 口腔外科対象疾患の診断能力を身につけ、治療に必要な態度、知識および基本的な技能を習得する。

(放射線) 顎・口腔領域の疾患の画像検査・画像診断を行うために必要なエックス線撮影技術および読影に必要な態度、知識および基本的な技能を習得する。

(麻酔) 麻酔管理が必要な患者を対象に、安全で質の高い、思いやりのある医療を行うために必要な知識、態度、技能を習得する。

(教育方法)

(口腔外科) 診療参加型実習

(放射線) 診療参加型実習

(麻酔) 患者資料を用いた麻酔術前と麻酔計画立案

臨床現場での全身麻酔、静脈内鎮静の見学

ペインクリニック外来、注射法、気管挿管、笑気吸入鎮静法の口頭試問および基礎実習

(実習・演習)

(学習方法)

(口腔外科)

- ・教科書および参考書の該当疾患箇所の熟読、
- ・4学年時の口腔外科学・口腔腫瘍学の講義ノートおよび配布資料の参照

(放射線)

- ・教科書および参考書の該当疾患箇所の熟読、
- ・4学年時の画像診断学の講義ノートおよび配布資料の参照

(麻酔)

臨床実習手帳の熟読

教科書の熟読

指導者から与えられた課題について調べる 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 時間】

(評価)

(口腔外科)

- ・客観試験(中間試験、定期試験)、
- ・診断ケースレポート、教授試問、初診ケースレポートを総合的に評価する。

(放射線)

- ・客観試験(中間試験、定期試験)、
- ・画像診断ケースレポート、画像解剖テスト等を総合的に評価する。

(麻酔)

提出された麻酔前記録、麻酔記録を用いた実地試験、小テスト結果を総合して成績をつける。

麻酔計画立案では、症例に入る前の発表時に解説を行う。全身麻酔、静脈内鎮静法の問題点があればその都度伝える。基礎実習や相互実習であれば質疑応答により理解度を確認する。

(教科書)

(口腔外科) カラーアトラス サクシント口腔外科学第3版 学建書院

(放射線) 歯科放射線学 医歯薬出版 第6版

(麻酔) 歯科麻酔・生体管理学 第2版

(参考書)

(口腔外科) 口腔外科学第4版 医歯薬出版、最新口腔外科学第5版 医歯薬出版

標準口腔外科学第4版 医学書院

(放射線) 歯科臨床における画像診断アトラス 医歯薬出版

(麻酔) 歯科麻酔学第8版

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		池邊、平木他	口腔外科	普通拔牙と小膿瘍の切開ができる (患者実習 / 資源: 同意の得られた患者)	拔牙の手順と偶発症を患者に説明できる 拔牙の準備ができる (ヘーベル、鉗子) 口腔内を消毒できる 浸潤麻酔ができる (適切な刺入部位、注射速度、薬量、リキャップ) 適切な拔牙操作ができる 適切な膿瘍切開ができる 拔牙窩、膿瘍腔を洗浄できる 術後の注意を患者に説明できる	IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8	情意 (実践状況対応) 認知 (解釈) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 情意 (実践状況対応) 精神運動 (自律部分・支援全体)	普通拔牙と膿瘍について教科書で該当ページを読むこと。	1.0
2		池邊、平木他	口腔外科	外来小手術ができるあるいは手術動画によって外科解剖と術式を理解して手術の介助ができる (患者実習 / 資源: 同意の得られた患者、手術動画)	嚢胞手術、生検の手順と偶発症を患者に説明できる 嚢胞手術、生検に必要な器具を準備することができる 口腔内を消毒できる 浸潤麻酔ができる (適切な刺入部位、注射速度、薬量、リキャップ) 適切な切開線を設定できる 安全にメスを扱うことができる または介助ができる 切開後、粘骨膜弁を剥離できる (嚢胞) または介助ができる 嚢胞を摘出できる (嚢胞) または介助ができる 歯根端切除ができる (嚢胞) または介助ができる 切開後組織片の採取ができる (生検) または介助ができる 術後の処置を行うことができる 術後の注意を患者に説明できる	IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8	精神運動 (自律部分・支援全体) 認知 (解釈) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 情意 (実践状況対応) 精神運動 (自律部分・支援全体)	顎骨嚢胞の種類、Partchの1法、2法、歯根端切除術の手順、生検の意義について教科書の該当ページを読むこと。	1.0
3		池邊、平木他	口腔外科	手術前の手洗いとグローブおよび術衣の装着が適切にできる (患者実習 / 資源: 同意の得られた患者)	手術場での装備ができる 適切にブラシを使用して手洗いができる 適切に手もみ洗いができる 清潔に配慮した手、腕の水洗ができる 手洗い後に滅菌タオルで拭くことができる ウェルバスの使用して消毒ができる グローブの着用ができる 滅菌ガウンを適切に着用することができる	IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8	精神運動 (自律部分・支援全体) 情意 (自己対応) 情意 (自己対応) 情意 (自己対応) 情意 (自己対応) 情意 (自己対応) 情意 (自己対応) 情意 (自己対応)	手洗い方法、消毒法、消毒薬の種類、器具の滅菌方法、清潔・不潔の区別を教科書の該当ページを読むこと。	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4		池邊、平木 他	口腔外科	頭頸部（口腔・顔面・顎部）と顎関節の診察ができる（学生相互実習 / 資源：学生、患者実習 / 資源：同意の得られた患者、術中関節鏡動画）	これから基本的検査を行うことを伝えることができる 診察に応じた適切なポジショニングができる 顔面の視診ができる 下顎の開口障害の有無を確認できる 顔面の触診ができる リンパ節の触診ができる 診療録に診療内容の記録ができる	IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8	情意（実践状況対応） 情意（自己対応） 情意（実践状況対応） 情意（実践状況対応） 情意（実践状況対応） 情意（実践状況対応） 情意（実践状況対応）	診断学の視診法・触診法、顎関節の解剖、生理、顎関節症の診断法と治療法について教科書の該当ページを読むこと。	1.0
5		池邊、平木 他	口腔外科	口腔粘膜の縫合ができる（シミュレーション実習 / 資源：模型、患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	清潔に配慮しながら滅菌グローブの装着ができる 縫合に必要な器材の選択ができる 縫合器材の操作ができる 手指による縫合ができる 持針器縫合ができる 抜糸ができる	IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8 IV-8	情意（自己対応） 精神運動（自律部分・支援全体） 情意（自己対応） 情意（実践状況対応） 情意（模擬対人対応） 情意（実践状況対応）	縫合の種類、必要な器具（針、糸、持針器の種類と用途）、縫合の仕方、抜糸の仕方について教科書の該当ページを読んで縫合できること。	1.0
6		池邊、平木 他	口腔外科	服用薬の作用・副作用を調べることができる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者）	患者から服用薬剤を聴取することができる 服用薬の効能を調べることができる 服用薬の副作用を調べることができる 口腔外科の診療や処置に置ける問題点を挙げるができる 口腔外科の診療や処置での服用薬剤の対応を説明できる	IV-8 III-20 III-20 III-19 III-19	精神運動（自律部分・支援全体） 認知（問題解決） 認知（問題解決） 認知（問題解決） 精神運動（自律部分・支援全体）	口腔外科の診療に関係する医科処方薬の作用機構と副作用について教科書の該当ページを読むこと。	1.0
7		池邊、平木 他	口腔外科	口腔外科診療に必要な画像をオーダーし、デジタル画像を読影できる（患者実習 / 資源：同意の得られた患者のデジタル画像）	適切な画像検査をオーダーすることができる 画像を読影し、説明できる 画像所見から適切な診断を導く	IV-3 IV-5 IV-8	認知（問題解決） 情意（実践状況対応） 認知（問題解決）	顎骨の透過性病変、不透性病変、軟組織病変のパノラマ、CT、MRIの画像上の特徴について教科書の該当ページを読むこと。	1.0
8		香川、筑井、吉田、米津、三輪、瀬々	放射線診断科	診断目的にあった口内法エックス線写真が撮影できる。（患者撮影、資源：口内法エックス線撮影装置、イメージングプレート(IP)、自動画像読取り機、患者）	これから行うことと指示を適切に行うことができた。 頭部を正しく設定できた。 患者の安全に配慮したIPの挿入、取り出し、照射筒の操作ができた。 目的歯にあった照射時間を設定できた。 適切に照射できた。 照射野とIPの位置づけが適切であった。 エックス線照射の水平的角度が適切であった。 エックス線照射の垂直的角度が適切であった。	II-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3 IV-3	精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体） 精神運動（自律全体）	教科書の該当ページを読むこと	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
9		香川、筑井、吉田、米津、三輪、瀬々	放射線診断科	パノラマエックス線撮影ができる (患者実習/資源: 同意の得られた患者)	患者誘導時に本人確認ができる	IV-15	精神運動 (自律全体)	教科書の該当ページを読むこと	1.0
					撮影時の注意点を説明できる	II-3	精神運動 (自律全体)		
					患者を安全に装置に誘導できる	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					適切な患者の位置づけができる	IV-3	精神運動 (自律全体)		
					断層域を正しく設定できる	IV-3	精神運動 (自律全体)		
					患者の様子を注意しながら照射できる	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					患者を安全に固定具から離すことができる	IV-15	精神運動 (自律全体)		
適切な写真処理ができる	IV-3	精神運動 (自律全体)							
10		香川、筑井、吉田、米津、三輪、瀬々	放射線診断科	単純エックス線写真の読影ができる (読影端末モニターに症例を呈示し読影レポートを作成する/資源: 臨床実習用医療情報デジタル化システム)	病変のエックス線所見を読み取ることができる	IV-8	精神運動 (自律全体)	教科書の該当ページを読むこと	1.0
					他者が理解できるように所見を表現できる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					適切な診断ができる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					誤字・脱字なく報告書が書ける	IV-8	精神運動 (自律全体)		
11		香川、筑井、吉田、米津、三輪、瀬々	放射線診断科	典型的所見を呈する疾患のCT写真の読影できる (読影端末モニターに症例を呈示し読影レポートを作成する/資源: 臨床実習用医療情報デジタル化システム)	病変の部位を指摘できる	IV-8	精神運動 (自律全体)	教科書の該当ページを読むこと	1.0
					軟組織モードの画像所見を読み取ることができる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					骨組織モードの画像所見を読み取ることができる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					他者が理解できるように所見を表現できる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					適切な診断ができる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					誤字・脱字なく報告書が書ける	IV-8	精神運動 (自律全体)		
12		香川、筑井、吉田、米津、三輪、瀬々	放射線診断科	典型的所見を呈する疾患のMRI写真の読影できる (読影端末モニターに症例を呈示し読影レポートを作成する/資源: 臨床実習用医療情報デジタル化システム)	病変の部位を指摘できる	IV-8	精神運動 (自律全体)	教科書の該当ページを読むこと	1.0
					T1強調画像所見を読み取ることができる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					T2強調画像所見を読み取ることができる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					他者が理解できるように所見を表現できる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					適切な診断ができる	IV-8	精神運動 (自律全体)		
					誤字・脱字なく報告書が書ける	IV-8	精神運動 (自律全体)		
13		谷口、富永、野上、吉武、小川	麻酔科	全身麻酔に必要な知識を説明できる (患者実習 / 資源: 同意の得られた患者)	絶飲食について説明できる	IV-14	認知 (問題解決)	術前診察において診察する項目、注意すべき既往歴、使用前投薬、使用関連薬剤および周術期管理に至る、全身麻酔の項目について教科書で該当ページを読むこと。	1.0
					前投薬について説明できる	IV-14	認知 (問題解決)		
					気管挿管について説明できる	IV-14	認知 (問題解決)		
					経口・経鼻挿管の違いを説明できる	IV-14	認知 (問題解決)		
					モニタについて説明できる	III-18	認知 (問題解決)		
					薬剤について説明できる	III-18	認知 (問題解決)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O S)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
14		谷口、富永、野上、吉武、小川	麻酔科	静脈内鎮静に必要な知識を説明できる (患者実習 / 資源: 同意の得られた患者)	静脈内鎮静の適応症・禁忌症が説明できる	IV-14	認知 (問題解決)	術前診察において診察する項目、注意すべき既往歴、使用関連薬剤および周術期管理に至る、静脈内鎮静法の項目について教科書で該当ページを読むこと。	1.0
					至適鎮静度について説明できる	IV-14	認知 (問題解決)		
					緩和と精神安定薬について説明できる	III-20	認知 (問題解決)		
					静脈麻酔薬について説明できる	III-20	認知 (問題解決)		
					モニタについて説明できる	IV-16	認知 (問題解決)		
				鎮静中の問題点を説明できる	IV-16	認知 (問題解決)			
15		谷口、富永、野上、吉武、小川	麻酔科	麻酔科外来で行う治療法を説明することができる (患者実習 / 資源: 同意の得られた患者)	星状神経節ブロックを説明できる	IV-4	認知 (問題解決)	侵害受容性疼痛、神経障害性疼痛、心因性疼痛の概念および末梢神経障害性疾患の概念、それぞれに対する治療法の項目について教科書で該当ページを読むこと。	1.0
					三叉神経痛の治療法を説明できる	IV-4	認知 (問題解決)		
					顔面神経麻痺の治療法を説明できる	IV-4	認知 (問題解決)		
					外傷性三叉神経麻痺の治療法を説明できる	IV-4	認知 (問題解決)		
16		谷口、富永、野上、吉武、小川	麻酔科	注射法に必要な基礎知識を説明でき、実習用器具を用いて施行できる (学生相互実習 / 資源: 学生)	皮内注射、皮下注射、筋肉内注射、静脈内注射の概要を説明できる。	III-20	認知 (問題解決)	薬物療法としての注射法の概念、それぞれの種類および手技の項目について教科書で該当ページを読むこと。	1.0
					薬物ごとに適切な注射法を選択できる。	III-20	認知 (問題解決)		
					シリンジと針を清潔な状態で接続でき、ペナルに対して目盛を上に出せる	III-20	認知 (問題解決)		
					リキャップを正しい方法で行うことができる	IV-15	認知 (問題解決)		
					注射用力マボコに正しい角度で、筋肉内注射を行うことができる。	IV-15	認知 (問題解決)		
17		谷口、富永、野上、吉武、小川	麻酔科	気管挿管に必要な基礎知識を説明でき、マネキンを用いて施行できる (シミュレーション実習 / 資源: マネキン)	気管挿管に必要な患者評価項目を5つ挙げ、それぞれについて説明できる。	III-2	認知 (問題解決)	気管挿管の概念、経口経鼻挿管の違い、使用する器具および手技の項目について教科書で該当ページを読むこと。	1.0
					喉頭鏡で喉頭展開した視野における解剖学的構造を説明できる。	III-2	認知 (問題解決)		
					マスク換気が適切に施行できる。	IV-14	認知 (問題解決)		
					経口気管挿管が適切に施行できる。	IV-14	認知 (問題解決)		
					経鼻気管挿管が適切に施行できる。	IV-14	認知 (問題解決)		
18		谷口、富永、野上、吉武、小川	麻酔科	精神鎮静法に必要な基礎知識を説明でき、笑気吸入鎮静法を施行できる (学生相互実習 / 資源: 学生)	笑気吸入鎮静法の適応症と禁忌症が説明できる	III-19	認知 (問題解決)	笑気の物理学的生理学的特徴、笑気吸入鎮静法の適応と禁忌、使用する器具および手技の項目について教科書で該当ページを読むこと。	1.0
					笑気吸入鎮静法の性質を説明できる	III-20	認知 (問題解決)		
					笑気吸入鎮静器とバイピングの安全対策について説明できる	IV-15	認知 (問題解決)		
					笑気吸入鎮静器の取扱いができる	III-21	認知 (問題解決)		
					笑気と酸素ボンベの残量を測ることができる	III-21	認知 (問題解決)		

臨床実習(総合歯科) 【実習】

科目番号 OD051404E

通年：

評価責任者： 廣藤卓雄

担当教員： 廣藤卓雄*1、米田雅裕*1、山田和彦*1、瀬野恵衣*1、伊崎佳那子*1
*1：総合歯科

(一般目標)

初診患者の医療面接および、担当教員の診療の補助および実習を行う。基本的な診査、診断を学び、歯科医療を行うための必要な知識・態度・技術を習得する。

(教育方法)

教員が学生に対しケースの確認や試問を行い、学生の知識の定着を確認する。
(プレゼンテーション) (フィールドワーク) (実習・演習)

(学習方法)

学生は診療の見学および診療の補助を行い、診療の流れや必要な器具、器材を理解し、歯科治療における基礎を学ぶ。
予習は診療の内容について教科書および参考書にて確認しておく。
復習はケースおよびレポートにより行う。

【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 2.0 時間】

(評価)

実習の出席日数およびケースおよびレポートの内容および提出状況により総合的に評価する。また学生のフィードバックはケース、レポート、評価シートの内容を再度、参考に各自確認を行い、自己学習を促す。

(教科書)

なし

(参考書)

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		全員	総合歯科	唾液検査の方法と結果を説明できる (体験実習/ 資源：学生、患者実習/ 資源：同意の得られた患者、臨床実習用医療情報デジタル化システム)	刺激唾液と安静時唾液の違いを説明できる	IV-2	認知(解釈)	配布資料、講義資料	1.0
					唾液分泌検査ができる	IV-3	精神運動(自律全体)		
					検査結果を適切に説明できる	IV-2	認知(問題解決)		
2		全員	総合歯科	口臭検査(官能検査)を実施する (体験実習/ 資源：学生、患者実習/ 資源：同意の得られた患者、臨床実習用医療情報デジタル化システム)	口臭検査を説明する	IV-2	精神運動(自律全体)	配布資料、講義資料	1.0
					口臭検査(官能検査)を実施する	IV-3	精神運動(自律全体)		
					結果を患者に説明できる	IV-2	認知(問題解決)		
					患者に配慮する	IV-2	情意(模擬対人対応)		

臨床実習(高齢者歯科) 【実習】

科目番号 OD051404F

通年：

評価責任者： 内藤 徹

内藤 徹、梅崎陽二郎、山口真広（高齢者歯科学）、

担当教員： 秋竹 純（福岡医療短期大学保健福祉学科）

堀部晴美（福岡医療短期大学歯科衛生学科）

（一般目標）

高齢者に対して安全で質の高い、思いやりのある歯科医療を行うために必要な知識・態度・技術を習得する。嚥下機能を適切に評価するために必要な知識・態度・技術を習得する。

（教育方法）

診療参加型臨床実習

介護施設での介護実習

スライド・ビデオによる症例供覧

相互実習（ロールプレイ）

（フィールドワーク）（実習・演習）

（学習方法）

臨床実習水準1から水準4をアドバンス的に選択し実習を行う。実習内容についてシラバスに記載している教科書・参考書等の該当箇所で予め予習しておくとともに、実習後にその内容を復習し、要点と関連事項をポートフォリオに記載する。

経験した症例について、実習後に教科書・参考書等の該当箇所を復習し、要点と関連事項をポートフォリオに記載するとともに、該当する国家試験の過去問題を学習する。 【単位修得に必要な授業外学習（予習・復習）時間： 3.0 時間】

（評価）

評価シートを用いての評価：評価後、コメントとともに返却

実習終了時にポートフォリオを評価：ポートフォリオにコメントを記載し返却

口頭試問による評価：試問中に適宜、コメント

観察記録による評価：評価後、コメントとともに返却

（教科書）

教科書は指定しない。

（参考書）

内藤 徹、秋竹 純、牧野路子、水谷慎介『高齢者の歯科診療はじめの一步 介護・介助の基本スキル』医歯薬出版、2017. 要介護高齢者の歯科診療に必要な介護技術に特化してわかりやすく解説されている。

日本老年医学会 編集『老年医学系統講義テキスト』西村書店、2013. 老年医学に関する内容と高齢者に多くみられる疾患等について詳しく、臨床を行ううえで有用性が高い。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標（G I O）	行動目標（S B O s）	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		全員	高齢者歯科	高齢者の口腔ケアができる。（患者実習／3階大診療室、要介護高齢者居住施設）	実施内容の説明ができる。	Ⅲ-13	認知（想起）	介護実習マニュアル（基本実習時に配布）に目を通す。	0.5
					スポンジブラシによる口腔清掃ができる。	V-4	情意（実践状況対応）		
					歯ブラシによる口腔清掃ができる。	V-4	情意（実践状況対応）		
2		全員	高齢者歯科	高齢者の嚥下機能スクリーニングを行うことができる。（患者実習／3階大診療室、要介護高齢者居住施設）	患者さんに対して検査の内容を説明できる。	Ⅲ-13	認知（想起）	介護実習マニュアル（基本実習時に配布）に目を通す。	0.5
					RSST（もしくは改訂水飲みテスト、嚥下聴診、フードテスト）ができる。	Ⅲ-14	情意（実践状況対応）		
					誤嚥リスクの判定が行える。	Ⅲ-14	認知（解釈）		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
3		全員	高齢者歯科	高齢者の認知機能検査を行うことができる。(患者実習/3階大診療室、要介護高齢者居住施設)	患者さんに対して検査の内容を説明できる。	Ⅲ-13	情意(模擬対人対応)	介護実習マニュアル(基本実習時に配布)に目を通す。	0.5
					面接によりMMSE(HDS-R)を実施できる。	Ⅲ-13	情意(自己対応)		
					認知機能の判定が行える。	Ⅲ-13	認知(解釈)		
4		全員	高齢者歯科	高齢者の口腔のアセスメントを行うことができる。(患者実習/3階大診療室、要介護高齢者居住施設)	患者さんに対して検査の内容を説明できる。	Ⅲ-13	認知(想起)	介護実習マニュアル(基本実習時に配布)に目を通す。	0.5
					OHATあるいは他のアセスメントを実施できる。	Ⅲ-13	情意(実践状況対応)		
					口腔アセスメントの判定が行える。	Ⅲ-13	認知(問題解決)		
5		全員	高齢者歯科	高齢者の嚥下機能のリハビリテーションを行うことができる。(患者実習/3階大診療室、要介護高齢者居住施設)	患者さんに対してリハビリテーションの内容を説明できる。	Ⅲ-14	認知(想起)	介護実習マニュアル(基本実習時に配布)に目を通す。	0.5
					いずれかの間接訓練が実施できる。	Ⅲ-14	情意(実践状況対応)		
6		全員	高齢者歯科	嚥下内視鏡検査ができる。(患者実習/3階大診療室、要介護高齢者居住施設)	患者さんに対して検査の内容を説明できる。	Ⅲ-14	認知(想起)	介護実習マニュアル(基本実習時に配布)に目を通す。	0.5
					内視鏡を適切に操作できる。	Ⅳ-11	情意(自己対応)		
					喉頭蓋の動きを観察できる。	Ⅳ-11	情意(模擬対人対応)		
					検査水を使用した嚥下運動を観察できる。	Ⅲ-14	情意(模擬対人対応)		

臨床実習(矯正歯科)【実習】

科目番号 OD051404G

通年：

評価責任者：玉置幸雄 *1

阿部朗子*1、高田俊輔*1、藤田隆寛*1、松田裕子*1、安永まどか*1

担当教員：

*1 矯正歯科

(一般目標)

安全で質の高い、思いやりのある歯科医療を行うために必要な知識・態度・技術を習得する。

(教育方法)

診療参加型実習、実習帳による示説、スライドによる症例供覧、e-learning、相互実習(ロールプレイ)
(ディスカッション・ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) (実習・演習)

(学習方法)

臨床実習水準Ⅰから水準Ⅱをアドバンス的に選択し実習を行う。実習内容についてシラバスに記載している実習帳の該当箇所ですべて予習しておく。実習後に教科書や第4学年時の講義プリントで該当箇所を復習する。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：8.0時間】

(評価)

評価シートを用いての評価：評価後、コメントとともに返却
客観試験(中間試験、定期試験)による評価：試験後、質問を受け付ける
ポートフォリオを用いての評価：作成過程および返却時にコメント
口頭試問による評価：試問中に適宜、コメント

(教科書)

飯田順一郎、葛西一貴、後藤滋己、末石研二、榎宏太郎、山城隆 他編、『歯科矯正学 第6版』、医歯薬出版、2019

(参考書)

William R. Proffit著、高田健治訳、『新版 プロフィットの現代歯科矯正学』、クインテッセンス出版、2004
(歯学生から専門医までを対象に歯科矯正学の理論をわかりやすく解説した本)
新井一仁、石川博之他著、『第3版 新しい歯科矯正学』、永末書店、2012
(歯科矯正学の講義の理解を助け、知識の整理をするための本)
榎宏太郎、後藤滋己、石川博之編集『歯科矯正マニュアル』、南山堂、2006
(箇条書きの表組みを主体とし、視覚的に知識をわかりやすく整理した本)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		全員	矯正歯科実習(臨床実習Ⅰ)	口腔内診査から歯列・咬合の異常の有無を判定できる。	これから行うことを説明できる。	IV-2	情意(模擬対人対応)	臨床実習Ⅰ実習帳16、18、19頁を予習する。	1.0
					歯齢を判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
					個々の歯の位置異常を判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
					歯列弓形態を判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
					前歯部被蓋を評価できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
					大臼歯関係を判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
					異常嚙下癖の有無を判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
2		全員	矯正歯科実習(臨床実習Ⅰ)	顔面診査から顔面の対称性とFacial typeを判定できる。	これから行うことを説明できる。	IV-2	情意(模擬対人対応)	臨床実習Ⅰ実習帳14、15、18、19頁を予習する。	1.0
					Facial typeを判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
					顔面の対称性を判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
					口唇閉鎖不全の有無を判定できる。	IV-2	精神運動(支援部分)		
3		全員	矯正歯科実習(臨床実習Ⅰ)	セファロ分析の基本的計測項目の計測を行うことができる。	計測点をトレース上に設定できる。	IV-9	認知(解釈)	臨床実習Ⅰ実習帳20~28頁を予習する。	1.0
					平面をトレース上に設定できる。	IV-9	認知(解釈)		
					基本的計測項目を計測できる。	IV-9	認知(解釈)		
					計測結果をポリゴン表に記入できる。	IV-9	認知(解釈)		
					セファロ分析結果を評価できる。	IV-9	認知(解釈)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
4		全員	矯正歯科実習 (臨床実習 II)	口腔模型の分析およびセファロ分析を行い、結果を評価できる。	セファログラムから顎顔面領域の構造をトレースできる。	IV-9	認知 (解釈)	臨床実習 II 実習帳 8～14 頁を予習する。	1.0
					セファロ分析の基本的計測項目の計測を行い、計測結果をポリゴン表に記入できる。	IV-9	認知 (解釈)		
					セファロ分析結果を評価できる。	IV-9	認知 (解釈)		
					口腔模型の計測ができる。	IV-9	認知 (解釈)		
					口腔模型の計測結果を分析表に記入できる。	IV-9	認知 (解釈)		
					口腔模型の分析結果を評価できる。	IV-9	認知 (解釈)		
					アーチレングスディスクレパンシーを算出できる。	IV-9	認知 (解釈)		
5		全員	矯正歯科実習 (臨床実習 II)	指導医とともに診断と治療方針の立案を行うことができる。	指導医のもと検査結果にもとづいて問題点をリストアップすることができる。	IV-9	認知 (問題解決)	教科書 263～335、345～361 頁を予習する。	1.0
					指導医のもと治療方針の立案ができる。	IV-9	認知 (問題解決)		
					問題点リストと治療方針との関連を確認できる。	IV-9	認知 (問題解決)		
6		全員	矯正歯科実習 (臨床実習 II)	成長発育期の患者の口腔内診査および顔面診査ができる。	これから行うことを説明できる。	IV-9	情意 (実践状況対応)	臨床実習 II 実習帳 2～4 頁を予習する。	1.0
					顔面の対称性を判定できる。	IV-9	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					Facial type を判定できる。	IV-9	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					歯齢を判定できる。	IV-9	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					前歯部被蓋を評価できる。	IV-9	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					ターミナルプレーンを判定できる。	IV-9	精神運動 (自律部分・支援全体)		
					異常嚙下癖の有無を判定できる。	IV-9	精神運動 (自律部分・支援全体)		
軟組織の異常の有無を判定できる。	IV-9	精神運動 (自律部分・支援全体)							
7		全員	矯正歯科実習 (臨床実習 II)	口腔内写真および顔面写真の撮影を行うことができる。	これから行うことを説明できる。	IV-3	情意 (模擬対人対応)	臨床実習 II 実習帳 5～7 頁を予習する。	1.0
					必要な器具が用意できる。	IV-3	精神運動 (支援部分)		
					介助者へ指示ができる。	IV-3	精神運動 (支援部分)		
					適切な撮影ができる。	IV-3	精神運動 (支援部分)		
8		全員	矯正歯科実習 (臨床実習 II)	診療に関する説明ができる。	説明の開始にあたって、環境を整えることができる。	IV-5	精神運動 (自律部分・支援全体)	教科書 215～262 頁を予習する。	1.0
					矯正治療の経過を説明できる。	IV-5	情意 (実践状況対応)		
					矯正装置の構造と作用を説明できる。	IV-5	情意 (実践状況対応)		
					矯正装置使用時の注意事項を説明できる。	IV-5	情意 (実践状況対応)		
					説明の終わりに、疑問点を確認できる。	IV-5	情意 (実践状況対応)		

臨床実習(小児歯科) 【実習】

科目番号 OD051404H

前期：

評価責任者：尾崎正雄

尾崎正雄*1、岡 暁子*1、馬場篤子*1、柏村晴子*1、田村翔悟*1、中村雅子*1

担当教員：

*1 小児歯科

(一般目標)

小児を対象とした一般的なう蝕治療とう蝕予防および対応法を習得する。

(教育方法)

相互実習による予防充填材の塗布などの予防実習

ケースレポート

参加型臨床実習

(ディスカッション・ディベート) (グループワーク) (実習・演習)

(学習方法)

小児歯科実習帳と教科書を熟読しケースレポートを作成する。

相互実習内容を予習しておく。

参加型臨床実習の患者の治療方法術式について復習する。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 3.0 時間】

(評価)

ケースレポート作成点、相互実習点、教授質問点

実習最終日に担当教員が実習内容の評価およびフィードバックを行う。

(教科書)

前田隆秀 他編集『小児の口腔科学』第4版 学建書院 2017、内容が豊富で臨床写真がカラーである点

(参考書)

参考書は指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		全員	小児歯科	フッ化物塗布ができる(水準1) (相互実習 / 資源：学生、患者実習 / 資源：同意の得られた患者)	フッ化物塗布の目的を説明できる これからフッ化物を塗布することを患児に伝達することができる コットンロールを使って簡易防湿ができる 適切な歯面乾燥ができる 適切なフッ化物塗布ができる 不安軽減のための声かけができる フッ化物塗布後の注意点を伝えることができる	Ⅲ-12 Ⅱ-3 Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅱ-3 Ⅱ-3 Ⅲ-12	認知(解釈) 情意(実践状況対応) 精神運動(自律部分・支援全体) 精神運動(自律部分・支援全体) 情意(実践状況対応) 情意(実践状況対応) 認知(解釈)	小児歯科実習帳と教科書を熟読する。相互実習内容を予習する。	1.0

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
2		全員	小児歯科	予防填塞ができる (水準1) (相互実習 / 資源: 学生、患者実習 / 資源: 同意の得られた患者)	保護者に予防填塞の目的を説明できる これから予防填塞を行うことを患児に伝達することができる 防湿 (ラバーダム、ZOO、簡易) ができる 適切な歯面清掃ができる 適切なエッチングと水洗乾燥ができる 適切な予防填塞ができる 不安軽減のための声かけができる 一連の処置が安全にできる 予防填塞後の注意点を伝えることができる	Ⅲ-12 Ⅱ-3 Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅱ-3 Ⅳ-10 Ⅲ-12	認知 (解釈) 情意 (実践状況対応) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 情意 (実践状況対応) 精神運動 (自律全体) 認知 (解釈)	小児歯科実習帳と教科書を熟読する。相互実習内容を予習する。	1.0
3		全員	小児歯科	小児の定期診査時における口腔内診査ができる (水準1) (相互実習 / 資源: 学生、患者実習 / 資源: 同意の得られた患者)	正しく歯を染めだすことができる 歯垢の付着状況を診査できる 軟組織の診査ができる 咬合を正しく診査できる 乳歯・永久歯を正しく診査することができる 歯肉の診査が正しくできる	Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅳ-10 Ⅳ-10	精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体) 精神運動 (自律部分・支援全体)	小児歯科実習帳と教科書を熟読する。相互実習内容を予習する。	1.0

臨床実習(障害者歯科) 【実習】

科目番号 OD051404I

評価責任者： 小島 寛
 小島 寛*1
 田崎園子*1
 担当教員： 尾崎 茜*1
 利光拓也*1

*1 障害者歯科

(一般目標)

障害者を対象に安全で質の高い、思いやりのある医療を行うために必要な知識、態度、技能を習得する。

(教育方法)

患者資料を用いた診断と治療計画立案
 臨床現場でのスタンダードプレコーション・清潔操作の実践
 診療参加型臨床実習
 (ディスカッション・ディベート) (プレゼンテーション) (実習・演習)

(学習方法)

臨床実習手帳の熟読
 障害者歯科臨床実習マニュアルの熟読
 身体障害、知的障害、精神障害、発達障害の特徴と対応法を復習
 配当された患者を対象に口腔内診査、歯科保健指導、診療補助の実施
 指導者から与えられた課題のまとめ 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 3.5 時間】

(評価)

提出された治療計画書、評価シートを用いた観察記録、実地試験、小テスト結果を総合して成績をつける。
 治療計画立案では、発表時に解説を行う。
 スタンダードプレコーション・清潔操作の実践では、問題点があればその都度伝える。
 診療参加型実習では、毎回の診療後に少なくともひとつの質疑応答により理解度を確認する。

(教科書)

指定しない。

(参考書)

指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		全員	障害者歯科	スタンダード・プレコーションが実践できる。	ゴーグルを正しく装着する。	IV-15	精神運動 (自律全体)	スタンダードプレコーション	0.5
					マスクを正しく着用する。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					手洗いを正しく行う。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					未滅菌グローブを正しく装着する。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					グローブをただしくはずす。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					グローブを分別廃棄する。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					グローブをはずした後に手洗いをを行う。	IV-15	精神運動 (自律全体)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
2		全員	障害者歯科	診療において清潔な操作ができる。	診療前に器具・材料を清潔に取り扱って診療の準備ができる。	IV-12	精神運動 (自律全体)	歯科における院内感染防止対策ガイドライン	0.5
					診療中に器具・材料を清潔に取り扱うことができる。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					一般ゴミと感染性廃棄物を正しく分別できる。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
					治療器具を定められたとおり片付けることができる。	IV-15	精神運動 (自律全体)		
3		全員	障害者歯科	障害者の歯科治療計画が立案できる。	問診票の内容を把握できる。	IV-4	認知 (解釈)	障害者の歯科診療における行動調整法	0.5
					疾患 (障害) や常用薬を確認し、診療上の注意事項が把握できる。	IV-4	認知 (解釈)		
					歯科疾患を正しく診断し、治療計画が立案できる。	IV-4	認知 (問題解決)		
					各種行動調整法の利点と欠点が説明できる。	IV-4	認知 (解釈)		
					患者の口腔管理上の問題点を説明できる。	IV-4	認知 (問題解決)		
4		全員	障害者歯科	障害者の口腔内状態の診察ができる。	診療録から既往歴等の必要な情報を得ることができる。	IV-12	認知 (解釈)	脳性麻痺、Down症候群、自閉スペクトラム症の歯科的特徴と歯科診療における留意事項	0.5
					患者に対して開口や顔の向き等の必要な指示ができる。	IV-12	精神運動 (自律全体)		
					現在歯を正しく判定する。	IV-12	精神運動 (自律全体)		
					齲蝕の有無と重症度を正しく判定する。	IV-12	精神運動 (自律全体)		
					歯の形態異常・石灰化不全の有無を正しく判定する。	IV-12	精神運動 (自律全体)		
					歯肉の状態を正しく判定する。	IV-12	精神運動 (自律全体)		
					口腔軟組織の異常の有無を正しく判定する。	IV-12	精神運動 (自律全体)		
					咬合の状態を正しく判定する。	IV-12	精神運動 (自律全体)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
5		全員	障害者歯科	障害者のプラーク指数を測定し、歯科保健指導ができる。	診療録から既往歴等の必要な情報を得ることができる。	IV-6	認知(解釈)	障害者への対応法 (TSD法や系統的脱感作) および行動変容技法 (レスポナント技法やオペラント技法)	0.5
					口腔内の状態を確認できる。	IV-6	認知(解釈)		
					歯垢を染め出して付着部位が確認できる。	IV-6	精神運動(自律全体)		
					歯垢付着部位を患者に伝えることができる。	IV-6	精神運動(自律全体)		
					患者に応じてブラッシング方法が指導できる。	IV-6	精神運動(自律全体)		
6		全員	障害者歯科	障害者のホームケアの指導ができる。	補助的清掃用具の使用と介助磨きの有無が確認できる。	IV-6	精神運動(自律全体)	脳性麻痺、Down症候群、自閉スペクトラム症の歯科的特徴と歯科口腔保健上の留意事項	0.5
					歯磨きをする時間帯とかける時間を確認する。	IV-6	精神運動(自律全体)		
					習慣的に摂取する食物・飲料と間食のとり方を確認する。	IV-6	精神運動(自律全体)		
					口腔清掃状態の問題点を患者および保護者に伝える。	IV-6	精神運動(自律全体)		
					齲蝕予防の注意事項を患者および保護者に伝える。	IV-6	精神運動(自律全体)		
					歯周病予防の注意事項を患者および保護者に伝える。	IV-6	精神運動(自律全体)		
					患者および保護者の理解を確認しながら指導を進めることができる。	IV-6	精神運動(自律全体)		
7		全員	障害者歯科	障害者の歯科治療時の対応と介助ができる。	診療録から既往歴等の必要な情報を得ることができる。	IV-12	認知(解釈)	脳性麻痺、Down症候群、自閉スペクトラム症の患者への対応法	0.5
					診療台への誘導または移乗ができる。	IV-12	精神運動(自律全体)		
					疾患(障害)に合わせた診療環境および診療体勢を整える。	IV-12	精神運動(自律全体)		
					顔または手、足の動きの抑制ができる。	IV-12	精神運動(自律全体)		
					治療終了後に患者を安全に誘導する。	IV-12	精神運動(自律全体)		

臨床実習(口腔保健) 【実習】

科目番号 0D051404J

通年：

評価責任者： 埴岡 隆

埴岡 隆*1、渡辺 猛*1、谷口奈央*1、島津 篤*1、内藤 麻利江*1、矢田部尚子*1

担当教員：

*1 総合歯科

(一般目標)

安全で質の高い、思いやりのある歯科医療を行うために必要な知識・態度・技術を習得する。

(教育方法)

患者見学実習・学生相互実習、保健センター実習、協力歯科医院実習、キャリアプランニング演習、臨床実地体験実習
(ディスカッション・ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) (フィールドワーク) (実習・演習)

(学習方法)

患者見学実習・学生相互実習、保健センター実習、協力歯科医院実習、キャリアプランニング演習、臨床実地体験実習
口腔保健学Ⅰ・Ⅱで使用した教科書および配布した資料の該当箇所を用いて予習する。これらに加えて実習で使用した実習帳を用いて復習する。 【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間： 10.0 時間】

(評価)

チェックリスト、ポートフォリオ、諮問
授業日の最後に教員が確認しフィードバックする。

(教科書)

なし

(参考書)

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		全員	検診等学外実習(口腔保健・予防歯科)	禁煙の助言ができる(水準2)患者実習・同意の得られた患者/3階第1総合診療室	歯周病等の口腔状況と喫煙との関係を説明できた	IV-6	情意(実践状況対応)	口腔保健学Ⅰ・Ⅱで学習した教科書および配布物の該当箇所に目を通す	1.0
2		全員	検診等学外実習(口腔保健・予防歯科)	OHI検査を行い、結果を説明できる(水準1)学生相互実習・学生、検査器材/口腔保健カンファレンス室	OHIの検査手順を説明できた。	IV-6	情意(模擬対人対応)	口腔保健学Ⅰ・Ⅱで学習した教科書および配布物の該当箇所に目を通す	1.0
					OHIに必要な器材を準備できた。	IV-6	情意(模擬対人対応)		
					OHI検査を行い、結果の説明ができた。	IV-6	情意(模擬対人対応)		
3		全員	検診等学外実習(口腔保健・予防歯科)	地域医療における臨床予防歯科の導入を計画できる(オリジナル)外部施設実習・福岡市内協力歯科医院/福岡市内協力歯科医院	地域医療における臨床予防歯科のフローを実体験できた。	V-4	情意(模擬対人対応)	口腔保健学Ⅰ・Ⅱで学習した教科書および配布物の該当箇所に目を通す	1.0
					地域医療におけるライフコース別の予防処置の現場を実体験できた。	V-4	情意(模擬対人対応)		
					地域医療におけるライフコース別の予防ガイダンスの現場を実体験できた。	V-4	情意(模擬対人対応)		
4		全員	検診等学外実習(口腔保健・予防歯科)	母子の歯科健康診査・保健指導ができる(水準3)外部施設実習・福岡市西保健センター/保健センター	保健センター等公衆衛生活動の現場を実体験できた。	IV-10	認知(問題解決)	口腔保健学Ⅰ・Ⅱで学習した教科書および配布物の該当箇所に目を通す	1.0
					1歳6か月児健診のフローを実体験できた。	IV-10	認知(問題解決)		
					1歳6か月児歯科健診における判定・リスク診断・保健指導の現場を実体験できた。	IV-10	認知(問題解決)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
5		全員	検診等学外実習 (口腔保健・予防歯科)	ライフコース別の保健指導ができる (水準4) 学生相互実習・学生、説明媒体/口腔保健カンファレンス室	母子歯科保健事業において模擬対象者に保健指導が実施できた。	V-4	情意 (模擬対人対応)	口腔保健学 I・II で学習した教科書および配布物の該当箇所に目を通す	1.0
					齲蝕予防を目的とするフッ化物応用 (学校単位のフッ化物洗口) の導入を模擬校長に指導できた。	V-4	情意 (模擬対人対応)		
					成人 (職域) 歯科保健事業において模擬対象者に保健指導を実施できる。	V-4	情意 (模擬対人対応)		
					模擬喫煙者に禁煙指導・禁煙支援が実施できた。	V-4	情意 (模擬対人対応)		
					口臭クリニックの模擬受診者に口臭検査の結果を伝え、治療方針を説明することができた。	V-4	情意 (模擬対人対応)		
6		全員	検診等学外実習 (口腔保健・予防歯科)	学校および成人 (職域) 歯科検診が実施できる (水準3) 学生相互実習・学生/口腔保健カンファレンス室	検診の準備ができた。	V-4	情意 (模擬対人対応)	口腔保健学 I・II で学習した教科書および配布物の該当箇所に目を通す	1.0
					記録者に検診の結果を伝えることができた。	V-4	情意 (模擬対人対応)		
					検診の事後措置を判定できた。	V-4	情意 (模擬対人対応)		

臨床実習(総合医学) 【実習】

科目番号 0D051404K

通年:

評価責任者: 大星 博明、金光 芳郎、池田 哲夫、山野 貴史、川野 庸一、鳥巢 浩幸、井上 敏生、古村 南夫、萩家 康弘

担当教員: (内科) 大星 博明、藤井 裕樹、原 雅俊、吉川 容司 (心療内科) 金光 芳郎、澤本 良子
(外科・内視鏡センター) 池田 哲夫、神代 竜一、橋本 直隆、堤 亮介
(耳鼻咽喉科) 山野 貴史 (眼科) 川野 庸一、吉田 倫子、明神 沙弥香
(小児科) 鳥巢 浩幸、沼田 里奈、野田 麻里絵 (整形外科) 井上敏生、加島伸浩、永野智子
(皮膚科) 古村南夫
(形成外科) 萩家康弘

(一般目標)

(内科) 口腔医学を実践できる歯科医師となるために、必要な内科的知識・診察態度・診察技能を習得する。
(心療内科) 全人的医療の実践のために必要な、心身相関に関する知識と理解を深める。
(外科・内視鏡センター) 口腔医学の観点から歯科診療に必要な医科疾患の診断・治療を学び、口腔と全身の関わりを理解する。
(耳鼻咽喉科) 耳鼻咽喉科診療について一般的に必要な知識を習得する。
(眼科) 歯科診療に必要な基本的な眼科診察法、手術に関する知識を習得する。
(小児科) 小児の診療に必要な知識、態度を習得する。
(整形外科) (1) 関節の構造と病態の説明ができる。(2) 整形外科の保存的治療手技を行うことができる。
(皮膚科) 粘膜や皮膚の色素性病変の診察、診断に必要な基礎知識、態度、技能を習得する。
(形成外科) マイクロサージャリーに対する理解を深め、今後の歯科医療に有意義に活用するために実際に経験して基本的知識を身に付け、血管模型を用いて顕微鏡操作下に血管縫合できるようにする。

(教育方法)

(内科) 内科に入院中の患者さんの診察を通じて、内科的診察と内科疾患の理解を深める
(心療内科) ストレス負荷による自律神経系の変化の体験的学習: バイオフィードバックや自律訓練、心理テストの実施
(外科・内視鏡センター) 実習、レポート作成
(耳鼻咽喉科) 耳鼻咽喉科ユニットを用いての診察方法、聴力、平衡検査について体験する。
(眼科) 臨床現場での眼科診察、手術を見学する
(小児科) 小児科外来での診療現場の見学 グループディスカッション 検査実習
(整形外科) (1) 骨関節疾患の症例について説明し、同意の得られた患者の手術見学(関節鏡視見学を含む)を行う。(2) 整形外科の基本的治療手技を選び、体験させる。
(形成外科) 口腔内顕微鏡を用いてマイクロサージャリーの実践的な練習を行う。
(実習・演習)

(学習方法)

(内科) 臨床実習手帳の熟読、教科書の予習
(心療内科) 心身相関の概念、自律神経系、および心理生理学的検査法について調べる。
(外科・内視鏡センター) 診察・検査・手術の見学やビデオでの手技を理解し、歯科治療における基礎を学ぶ。
予習は2年、3年での医科の講義資料および参考書にて確認しておく。
(耳鼻咽喉科) 実際の診察器具や検査装置を用いる。
(眼科) 眼科診察、手術見学における担当教員からの説明・指導
(小児科) 実習時に配布する資料を熟読する
(整形外科) (1) 整形外科外来にて症例について説明し、手術室であるいは実習室のモニターで手術を見学する。(2) 整形外科外来またはリハビリテーション室にて学生のロールプレイにより治療を体験させる。
(皮膚科) 学生同士によるロールプレイ型臨床実習を行う。
皮膚・口腔粘膜の色素性病変の肉眼的観察法、ダーモスコピー検査法について学習する。
学生同士で複数の皮疹をダーモスコピーにて観察後に写真撮影し記録する。
ダーモスコピー検査により得られた画像の所見をケースレポートに準じたレポートにまとめる。
(形成外科) 一定の時間内(約20分)に直径約3mmの動脈血管模型で10-0ナイロン糸を用いて顕微鏡下に少なくとも1針吻合する。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間: 時間】

(評価)

(内科) 入院患者の内科的問診・診察を正しく行えるかを評価する。また、患者の内科的病態を正確に把握できるかを評価する。
(心療内科) 実習態度、レポート
(外科・内視鏡センター) 実習の出席および実習態度およびレポートの内容および提出状況により総合的に評価する。
(耳鼻咽喉科) 質疑応答と評価シートを用いる。
(眼科) 担当教員による実習態度の評価
(小児科) 外来見学時の態度、ディスカッションでの質疑応答、検査実習態度により評価する
(整形外科) (1) または(2)について、質疑応答を行い、理解度を確認する。
(皮膚科) 提出されたレポート、評価シートを用いた観察記録、写真撮影の実地試験の結果を総合的に勘案して成績をつける。
(形成外科) 顕微鏡操作・マイクロサージャリーに用いる器具の適切な扱い・血管模型の吻合操作・実習中の態度や安全性特に吻合針に対する配慮、この4項目について実習中に教官が評価する。疑問点や重要ポイントについては実習中の指導・質疑応答で解決し理解する。

(教科書)

(内科)「わかりやすい内科学」第4版、文光堂、2014

(外科・内視鏡センター)2年,3年での医科の講義資料および参考書

(小児科)なし(資料を配布する)

(皮膚科)歯科医のための皮膚科学 第2版、山崎雙次・山本浩嗣・山根源之 編、医歯薬出版、2004

(参考書)

(内科)「内科学」第10版、朝倉書店、2013

(心療内科)心身医学標準テキスト 第3版(医学書院)

(外科・内視鏡センター)2年,3年での医科の講義資料および参考書

(小児科)なし(資料を配布する)

(皮膚科)ダーモスコピー超簡単ガイド、田中 勝、学研メディカル秀潤社、2010

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		大星、藤井、原、吉川	内科	内科疾患の問診・診察ができる(患者実習 / 資源:同意の得られた患者)	コミュニケーションが取れる	II-4	精神運動(自律全体)	「臨床医学概論、生体調節医学、循環呼吸腎臓病学」の講義資料に目を通しておく。	1.5
					適切な態度が取れる	II-3	情意(実践状況対応)		
					必要な質問項目を尋ねる	IV-1	精神運動(自律部分・支援全体)		
					正しい服装で診察できる	II-1	情意(模擬対人対応)		
					基本的な内科診察ができる	III-17	精神運動(支援部分)		
2		金光、澤本	心療内科	心身相関を理解し、心理面に配慮した医療面接について学ぶ(ロールプレイ / 資源:学生)	心療内科における生理検査法や治療法を通して、心身相関について理解する	III-16	認知(問題解決)	「精神医学・心身医学」の講義資料に目を通しておく。	1.5
					面接法の演習を通して、患者の心理面に配慮した医療面接について理解する	III-16	情意(模擬対人対応)		
3		池田、橋本	外科・内視鏡センター	消化管・腹部臓器の基本構造・局在・機能を説明できる(検査見学 / 資源:同意の得られた患者または学生)	上部消化管内視鏡検査の利点・欠点を説明できる	IV-3	認知(解釈)	消化器病学、臨床医学概論の講義資料とOSCEでの縫合などの手技を再度目を通す。	1.5
					下部消化管内視鏡検査の利点・欠点を説明できる	IV-3	認知(解釈)		
					腹部超音波検査で、腹部内臓器の局在を理解できる	IV-3	認知(解釈)		
					外科基本手技を行うことができる(ロールプレイ / 資源:学生)	IV-13	情意(模擬対人対応)		
					手指消毒ができる	IV-15	情意(模擬対人対応)		
					皮膚消毒法を説明できる	IV-15	情意(模擬対人対応)		
4		山野	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科診察(視診、触診)ができる(ロールプレイ / 資源:学生)	外耳、鼓膜の視診ができる	IV-2	認知(解釈)	「耳鼻咽喉科学」の講義資料に目を通しておく。	1.5
					鼻腔の視診ができる	IV-2	認知(解釈)		
					口腔、咽頭の視診ができる	IV-2	認知(解釈)		
					頭部の触診ができる	IV-2	認知(解釈)		
					簡易聴力検査および簡易平衡検査ができる(ロールプレイ / 資源:学生)	IV-2	認知(解釈)		
					簡易平衡検査ができる	IV-2	認知(解釈)		
5		川野、吉田、明神	眼科	基本的な眼科診察法や検査の意義を説明できる。(眼科検査相互実習 / 資源:学生)	細線灯顕微鏡検査	IV-17	認知(解釈)	「眼科学」の講義資料のうちドライアイ、白内障について目を通しておく	1.5
					眼圧検査	IV-17	認知(解釈)		
					眼底検査	IV-17	認知(解釈)		
					涙液分泌機能検査	IV-17	認知(解釈)		
					基本的な眼科手術、局所麻酔の方法を説明できる。(手術見学 / 資源:同意の得られた患者)	IV-17	認知(想起)		
					白内障手術	IV-17	認知(想起)		

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標 (G I O)	行動目標 (S B O s)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
6		鳥巢、沼田、野田	小児科	基本的な小児の診察法と検査法を理解する。(見学、ロールプレイ/ 資源: 学生、同意の得られた患者)	小児の発熱に対する対応を説明できる	Ⅲ-17	認知(解釈)	「小児科学」の講義資料に目を通しておく	1.5
					小児を診察する際に適切な態度を説明できる	Ⅱ-3	認知(解釈)		
					小児、保護者から適切に情報を収集する方法を説明できる	Ⅳ-1	認知(解釈)		
				基本的な小児のアレルギー疾患や検査の意義を説明できる。(アレルギー検査相互実習/ 資源: 学生)	アレルギー疾患の概念を説明できる	Ⅲ-17	認知(解釈)		
					呼吸機能検査の意義を理解する	Ⅳ-3	情意(模擬対人対応)		
					ブリックテストの意義を理解する	Ⅳ-3	情意(模擬対人対応)		
基本的なけいれん性疾患や検査の意義を説明できる。(脳波検査実習/ 資源: 学生)	けいれん性疾患を理解する	Ⅲ-17	認知(解釈)						
	脳波検査の意義を理解する	Ⅳ-3	認知(解釈)						
7		井上、加島、永野	整形外科	関節の構造と病態の説明ができる(手術見学(関節鏡視見学を含む) / 資源: 同意の得られた患者)	関節の正常な構造を説明できる	Ⅲ-2	認知(想起)	「整形外科」の講義資料に目を通しておく	1.5
					関節疾患の異常所見を説明できる	Ⅲ-17	認知(解釈)		
					関節疾患の診断とその根拠を説明できる	Ⅲ-17	認知(解釈)		
					関節疾患の治療法を説明できる	Ⅲ-17	認知(解釈)		
				整形外科の保存的治療手技を行うことができる。(ロールプレイ / 資源: 学生)	松葉杖歩行の指導ができる	Ⅳ-4	認知(解釈)		
					シーネによる関節の外固定ができる	Ⅳ-4	認知(解釈)		
			筋力訓練の指導ができる	Ⅳ-4	認知(解釈)				
8		古村、伊藤	皮膚科	粘膜・皮膚病変の診断のためのダーモスコピー検査を学ぶ(ロールプレイ / 資源: 学生)	ダーモスコピー検査の意味を理解する	Ⅳ-3	認知(想起)	「皮膚科学」の講義資料のうち皮膚・粘膜の色素性母斑、悪性黒色腫、血管腫に目を通しておく。	1.5
					適切な態度をとる	Ⅰ-4	精神運動(自律全体)		
					検査結果を所見として述べる	Ⅳ-2	認知(問題解決)		
					口腔や顔面の写真撮影ができる	Ⅳ-3	精神運動(自律全体)		
					粘膜・皮膚病変の基本的な診断名を列挙する	Ⅲ-17	認知(解釈)		
9		萩家	形成外科	マイクロサージャリーに用いる器具を扱える(シミュレーション実習/ 資源: 微小血管吻合術練習用血管モデル)	マイクロサージャリーに用いる器具がわかる	Ⅲ-21	認知(解釈)	「形成外科」の講義資料に目を通しておく	1.5
					練習用血管を適切に固定し、顕微鏡の視野が確保できる	Ⅲ-21	認知(解釈)		
					適切に顕微鏡のフォーカスを固定できる	Ⅲ-21	認知(解釈)		
				血管吻合に際して愛護的操作ができる(シミュレーション実習/ 資源: 微小血管吻合術練習用血管モデル)	顕微鏡下で持針器に10-0ナイロン糸を適切に把持できる	Ⅳ-8	認知(問題解決)		
					血管を扱う際に愛護的操作ができる	Ⅳ-8	精神運動(自律全体)		
					血管吻合の際、適当な位置に針を刺入できる	Ⅳ-8	精神運動(自律全体)		
					顕微鏡下に単結紮縫合ができる	Ⅳ-8	精神運動(自律部分・支援全体)		
縫合時の細かい注意事項に留意して血管吻合を完成できる	Ⅳ-17	精神運動(支援部分)							

臨床実習(訪問歯科センター) 【実習】

科目番号 OD051404L

後期：4コマ
 評価責任者：森田 浩光
 森田浩光*1
 牧野路子*1
 担当教員：堤 貴司*1

*1 訪問歯科センター

(一般目標)

地域包括ケアシステムにおいて、医療チームの一員として歯科訪問診療の実践のために、必要な知識・技能・態度を修得する。

(教育方法)

診療参加型臨床実習
 相互実習(ロールプレイ)
 (診療介入・介助) (実習・演習)
 (ディスカッション・ディベート) (実習・演習)

(学習方法)

事前学習を行っていることを前提に進めるので、必ず事前に教科書・参考書・授業プリントを用いて予習を行うこと。また実習終了後は必ず重要事項の復習を行い、理解を定着させるよう努めること。【単位修得に必要な授業外学習(予習・復習)時間：2.0時間】

(評価)

評価シートを用いての評価：評価後、コメントとともに返却
 口頭試問による評価：試問中に適宜、コメント

(教科書)

①今井裕、岩淵博史 監修「有病者歯科学」永末書店 2018
 全身疾患と歯科治療時の注意点についてわかりやすく解説されている。

(参考書)

①西田百代 監修「有病高齢者歯科治療のガイドライン(上・下)」クインテッセンス出版 2013
 全身疾患と歯科治療についてわかりやすく解説されている。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号・項目名	学習目標(GIO)	行動目標(SBOs)	コンピテンシー	教育目標領域	予習の項目	必要時間
1		森田、牧野	訪問歯科センター	訪問診療を体験する(水準1)学習方略1:患者実習/資源:同意の得られた患者、学習方略2:学生相互実習/資源:学生	訪問診療の必要性を説明する 患者の全身疾患・病態とそれに伴った歯科治療時の注意点を列挙する	V-3 III-19	認知(想起) 認知(想起)		
					訪問診療における患者安全対策(医療安全・感染対策)を実施する	IV-15	精神運動(支援部分)		
					訪問診療で口腔ケアを実施する	I-1	精神運動(支援部分)		
2		森田、牧野	訪問歯科センター	地域包括ケアシステムにおける歯科の役割を理解する(水準3)学習方略1:患者実習/資源:同意の得られた患者、学習方略2:学生相互実習/資源:学生	地域包括ケアシステムにおける歯科の役割を説明する 急性期・回復期・慢性期・終末期の歯科治療・口腔ケアの必要性を説明する 患者の疾患、病期・病態に配慮した治療計画を立てる	V-3 III-17 III-13	認知(想起) 認知(想起) 精神運動(支援部分)		
					急性期・慢性期患者への歯科治療・口腔ケアを補助する	IV-17	精神運動(支援部分)		

成績評価方法、GPA (Grade Point Average) の活用について

GPA (Grade Point Average)

各授業科目の評点を5段階評価し (A・B・C・C-・D)、それを4から0の点数 (GP: Grade Point) に置き換えて、その点数と単位数を掛け、その総和 (GPT: Grade Point Total) を履修単位数の合計で割った平均点

評点	評語	Grade Point (GP)
100点～80点	A	4
79点～70点	B	3
69点～60点	C	2
再試60点	C-	1
59点～0点	D	0

GPA の算出方法

$$\text{GPA} = \text{GPT} \div \text{履修単位数の合計}$$

$$(\text{GPT} = [\text{GP} \times \text{単位数}] \text{の総和})$$

実際の計算例

科目名	単位数 (a)	評点	評語	GP(b)	(a × b)
〇〇学講義	1	86	A	4	4
〇〇学講義	2	再試60	C-	1	2
〇〇学演習	2	60	C	2	4
〇〇学実習	3	72	B	3	9
計	8 ^{*1}				19 ^{*2}

$$\text{GPA} = 19(\text{GPT}^{*2}) \div 8 (\text{単位数の合計}^{*1}) = 2.38 \quad (\text{小数第3位四捨五入})$$

対象教科

原則として、進級あるいは卒業により認定された全ての授業科目を対象とする。

ただし、次の授業科目や修得単位等は計算に含めない。

- 1) 基礎教養科目で必要単位数を超えて取得した科目
- 2) 編入学または転入学した際の単位認定科目
- 3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- 4) その他教授会で認めた GPA 算出除外科目

GPA の活用目的

- 1) 学生の個別の学習指導に活用

前年度 GPA が2.00未満の学生は、進級するのにかなりの努力が必要な状況にあります。

- 2) 特待生等の選考の参考資料に活用

授 業 要 綱

編集
発行 福岡歯科大学

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号
電話 092 (801) 0411番 (代)
Fax 092 (801) 0427番